

橘花 エリカ

○等部

チア部



この生き物・

なんだろう

橘花エリカ (■)

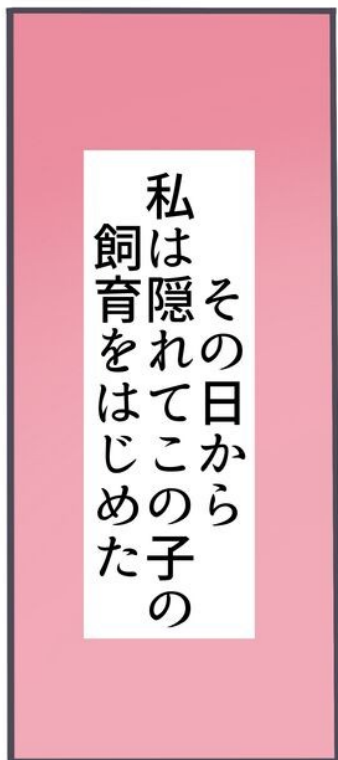
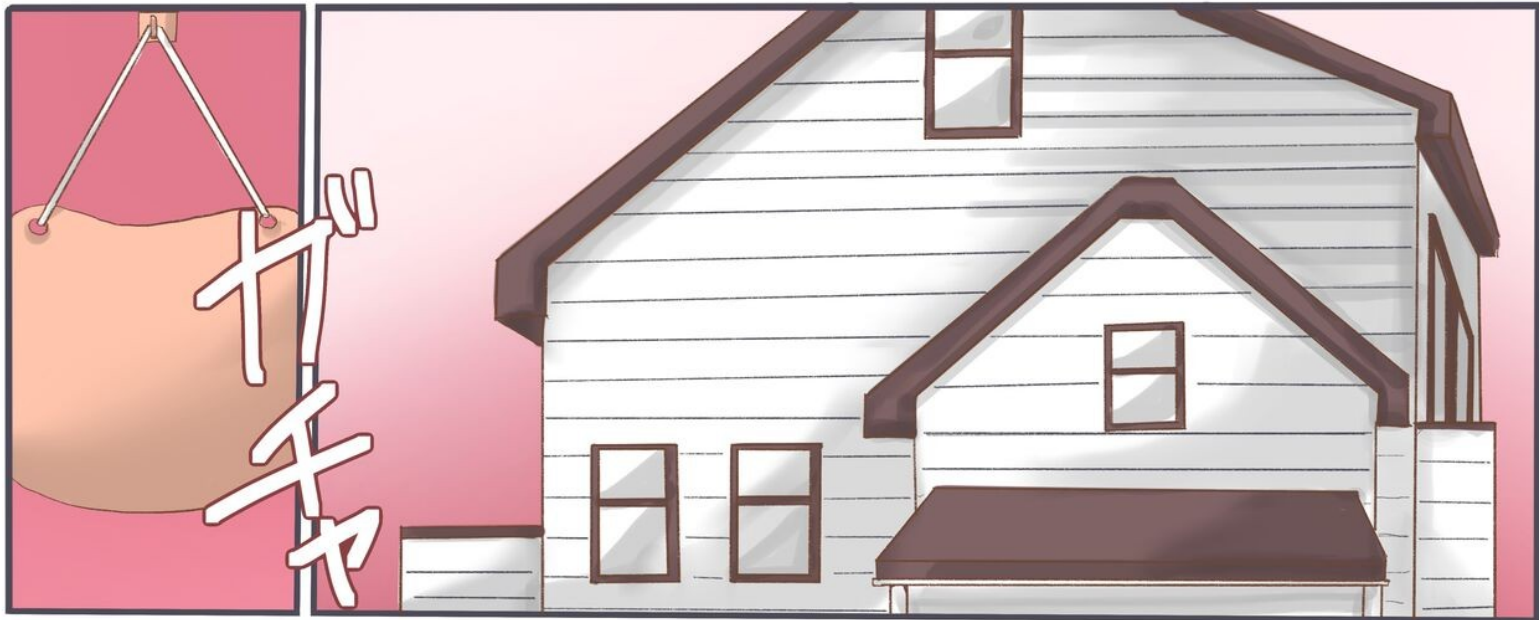
猫？

きゅう

きゅう

犬・・・かな？







ドックフードじゃ
ダメなのかな・・・



どうしよう
何も食べてくれない



きゅう？

ミルクも
お水も飲まないし



キュウちゃん
お腹空かないの？

きゅう

きゅう

それからも
キュウちゃん
は何も食
べず

キュウちゃん
くすぐつ
たいよ♡

でも
全然平
気そ
うで

きゅう

きゅう



わっ

もぞ

もぞ

きゅー



もぞ

きゅー♡



ちよつと
キユウちゃん

ダメだよ

くすぐりたいよ♡

吸っても
おっぱい出ないから

きゅう♡

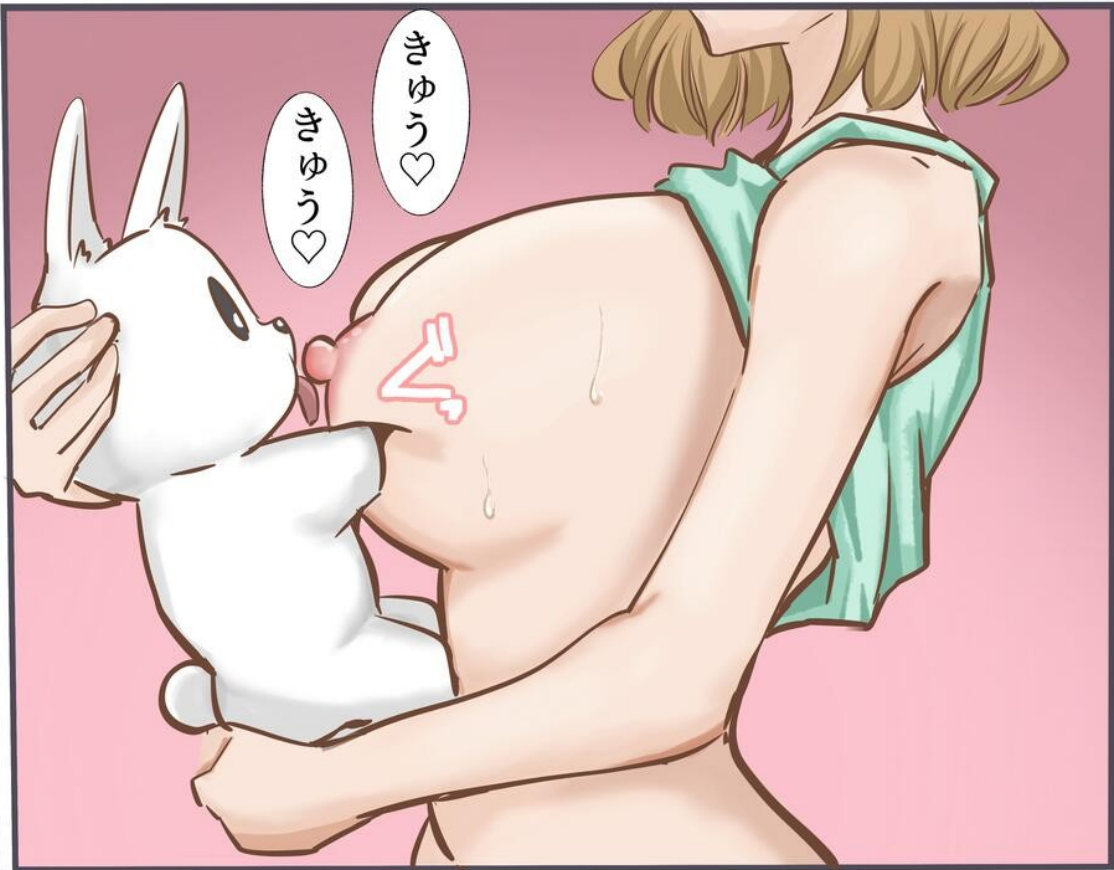
ちゅー

ちゅー

ちゅー

ちゅー





きゅう♡
きゅう♡

まだ小さいし

ママが恋しいのかなあ

ちゃー
ちゃー



いっぱい吸ってらさよ

しょうがないなあ

なぞ
なぞ

その日から
キユウちゃんは

きゅう♡

きゅう♡

必要におっぱいを
せがみはじめた

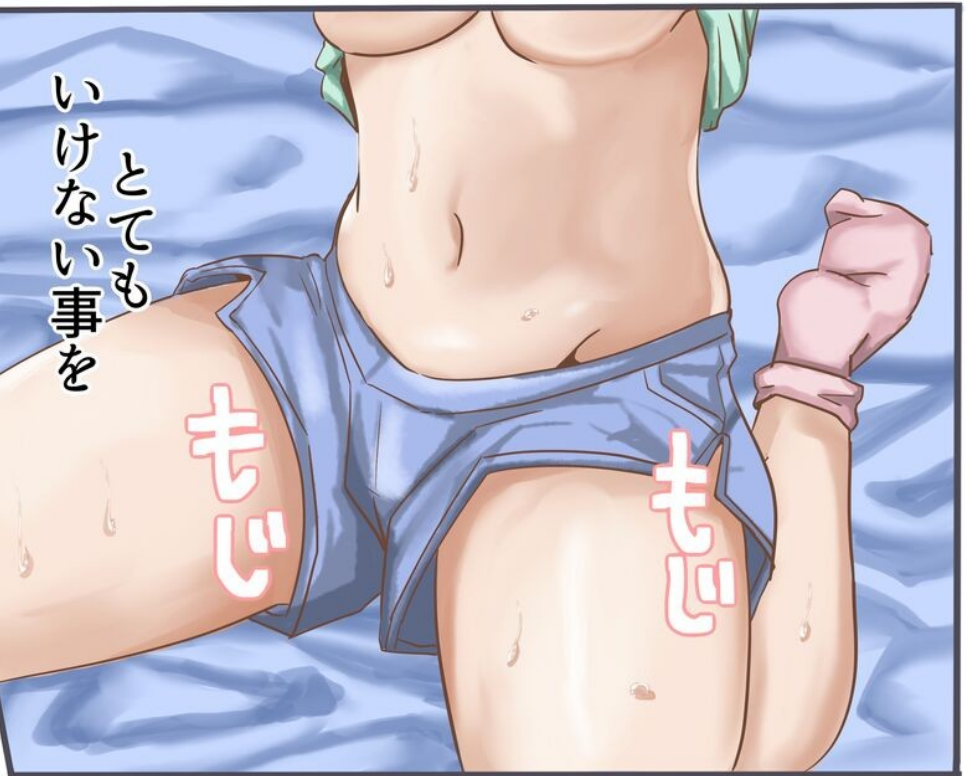
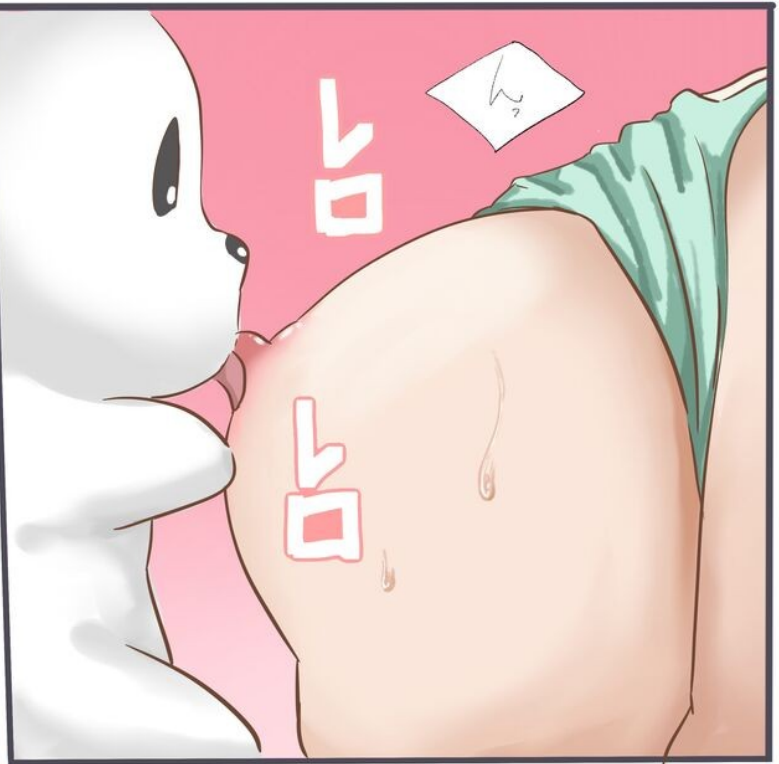
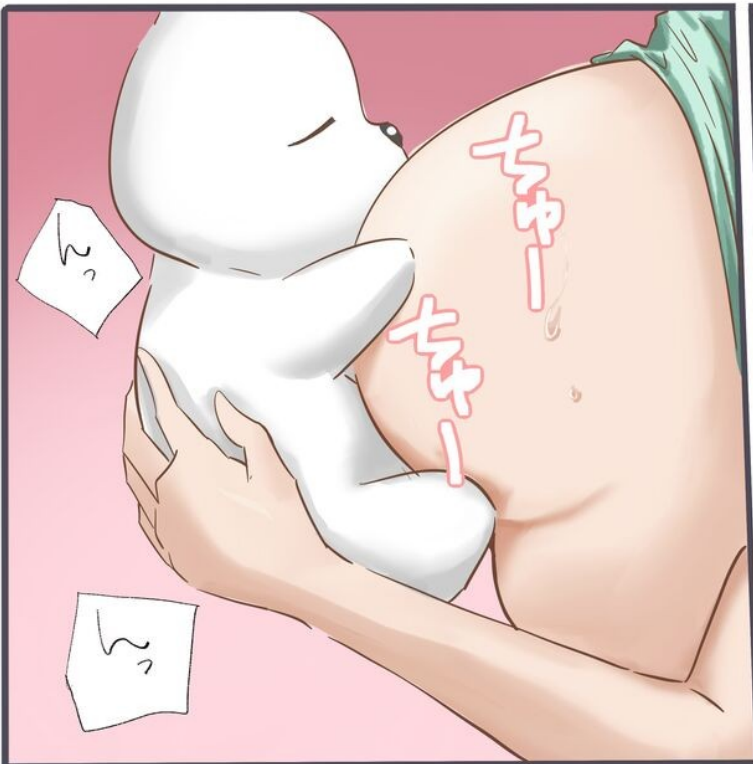
もう...

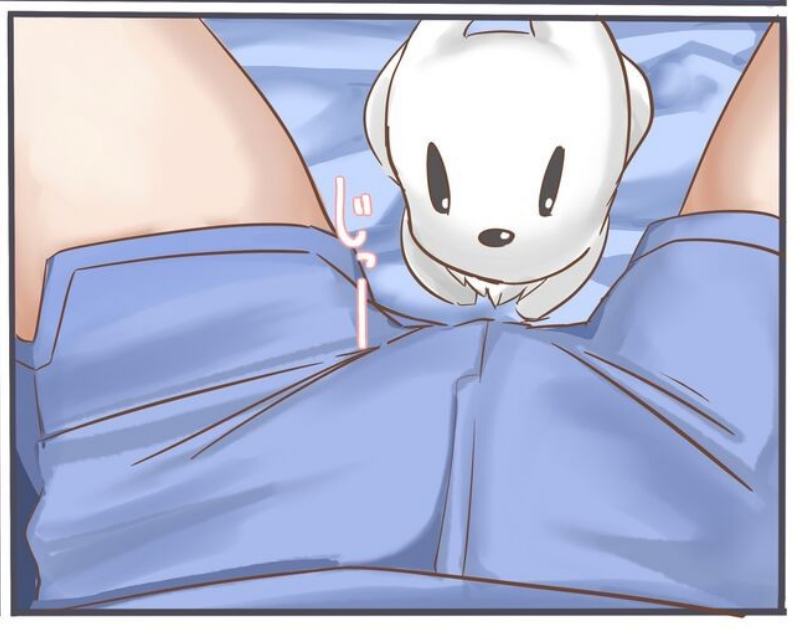
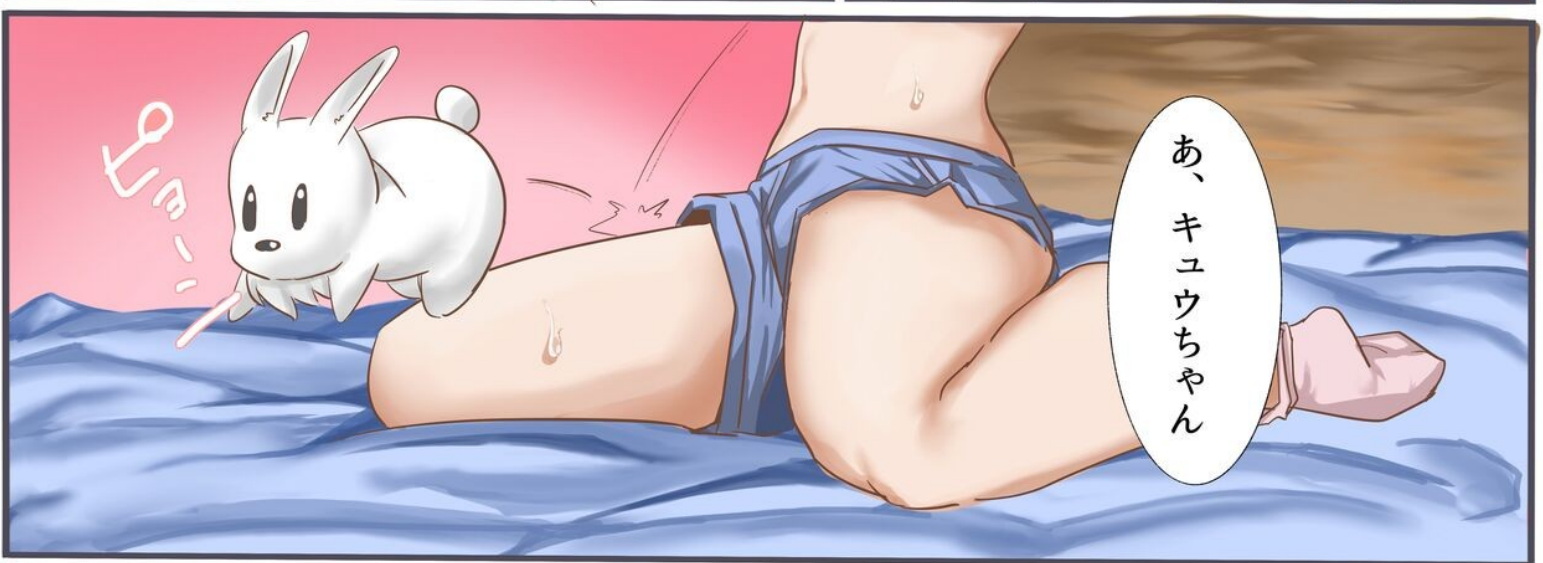
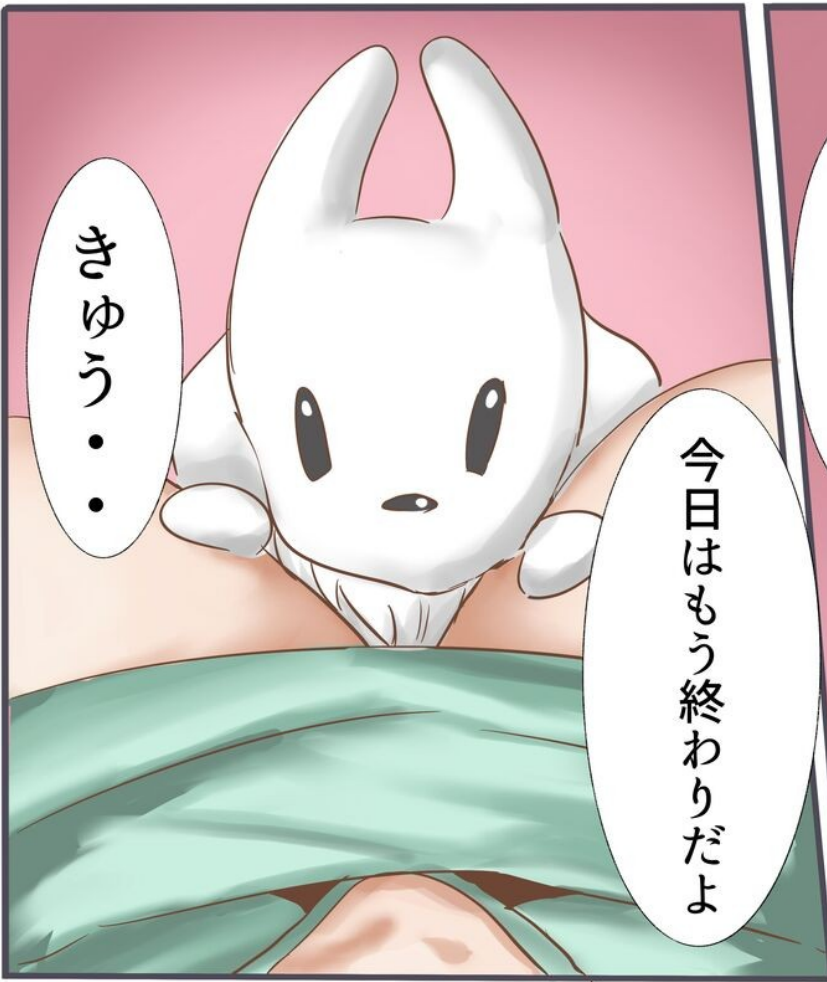
いくら吸っても
ミルクは出ないんだよ？

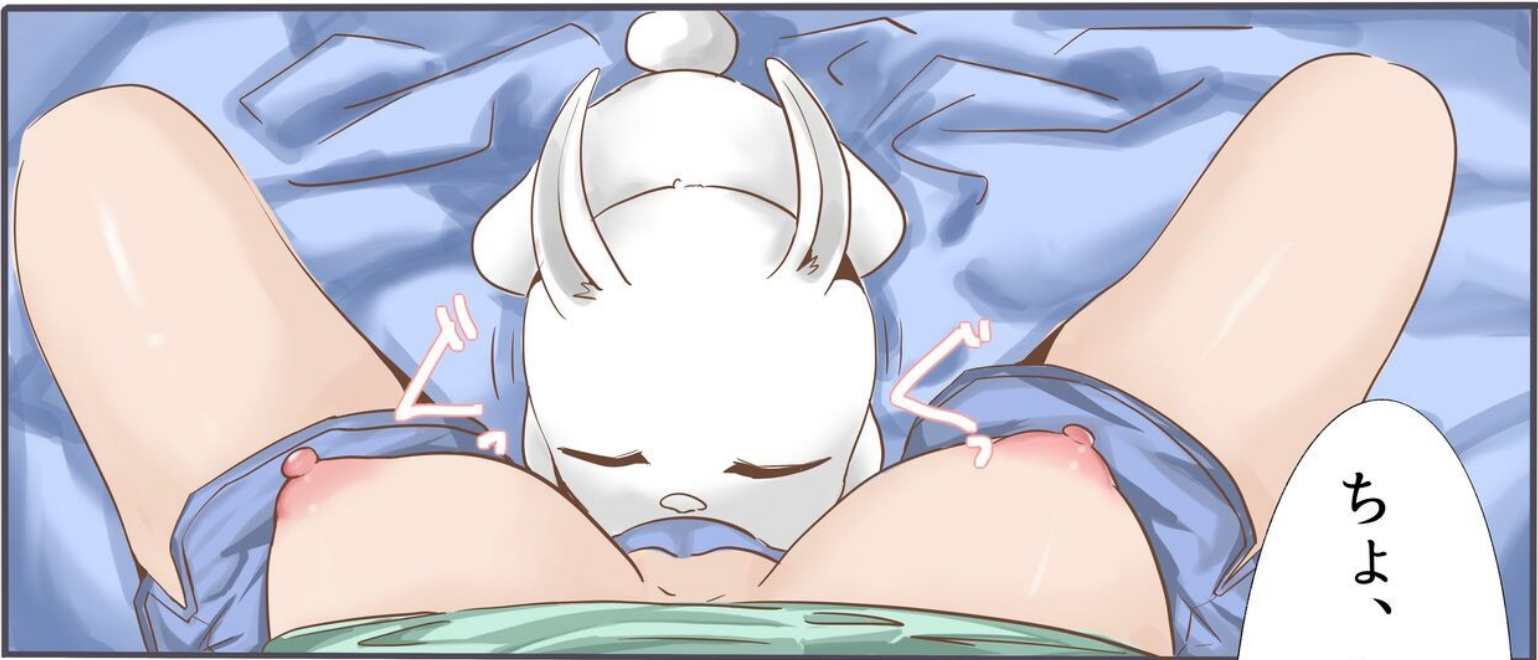
またおっぱい吸いたいの？

きゅう♡

少しだけだよ





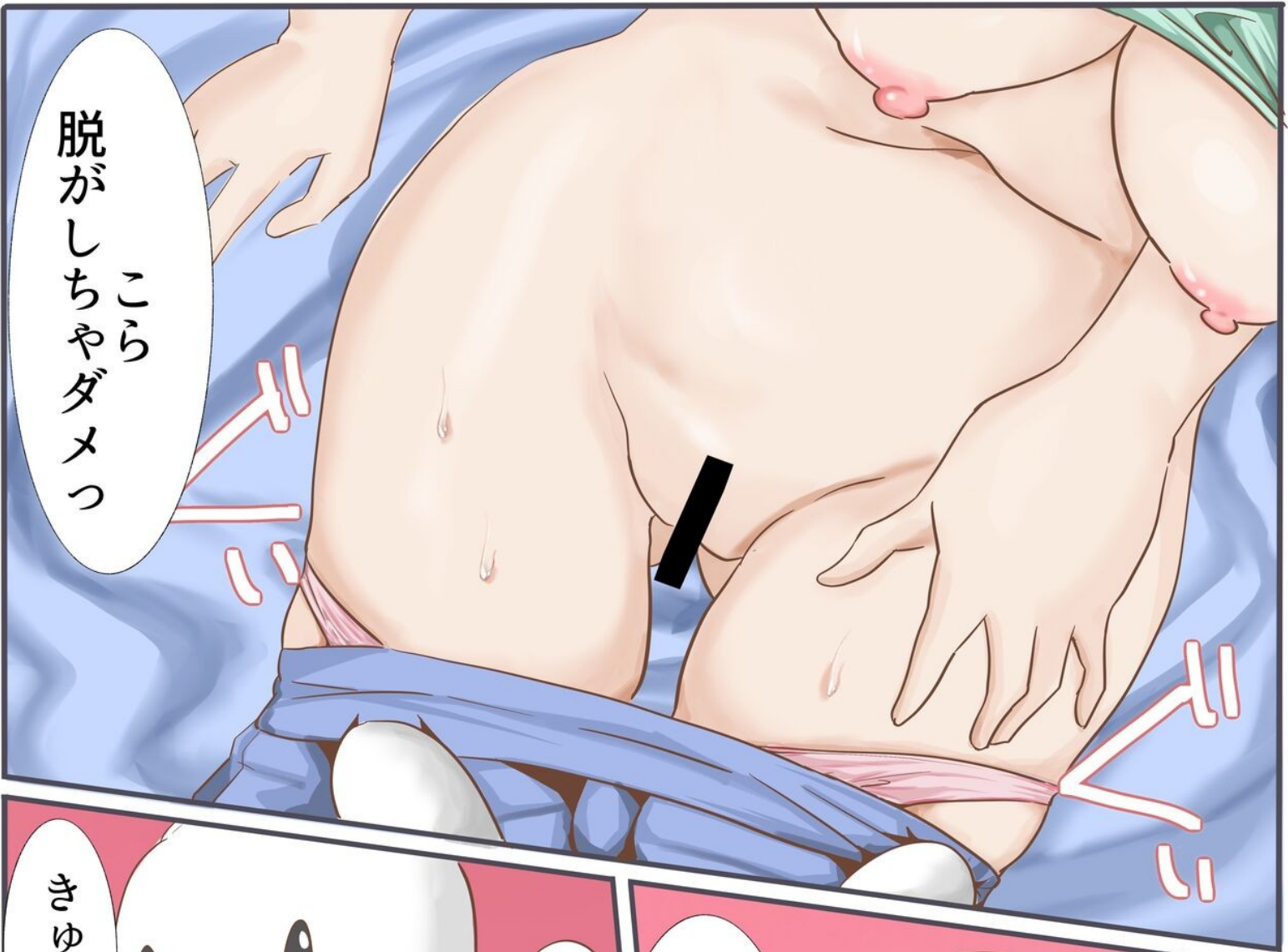


ちよ、キユウちゃん



そこダメ

やめなさい
キユウちゃん!



脱がしちやダメっ
こら



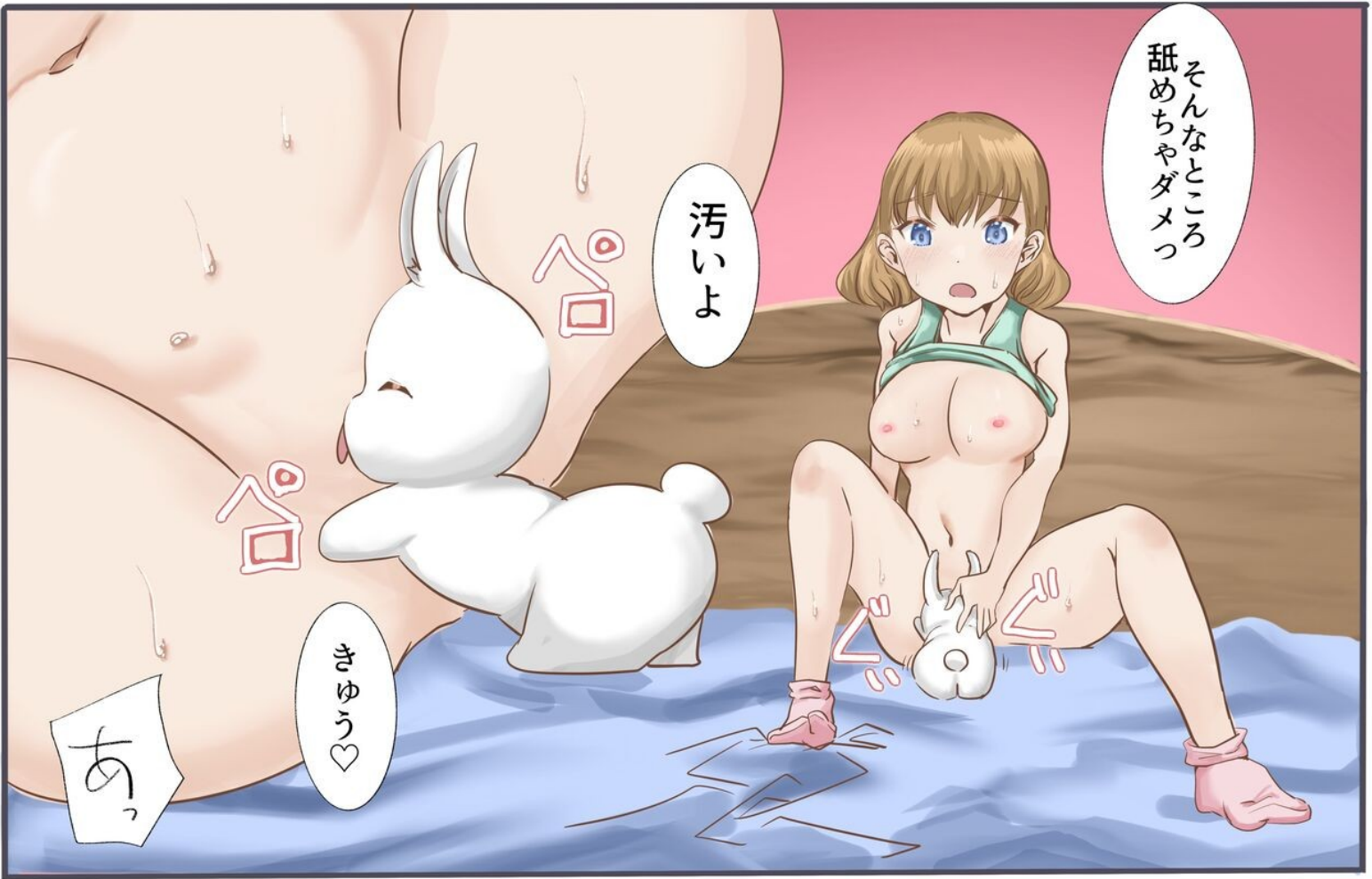
きゅう♡



イタズラしちや
ダメでしょ



きゅー



そんなところ舐めちゃダメっ

汚いよ

きゅん♡

あ



ダメっ

きゅん♡
キュウちゃん

あ

あ

ん

ビクッ

きゅん♡

きゅん♡



やだっコレ

躰がゾワって

どんどん
変な感じに...

おしっこ
出ちやいそう



これ以上は
ダメっ

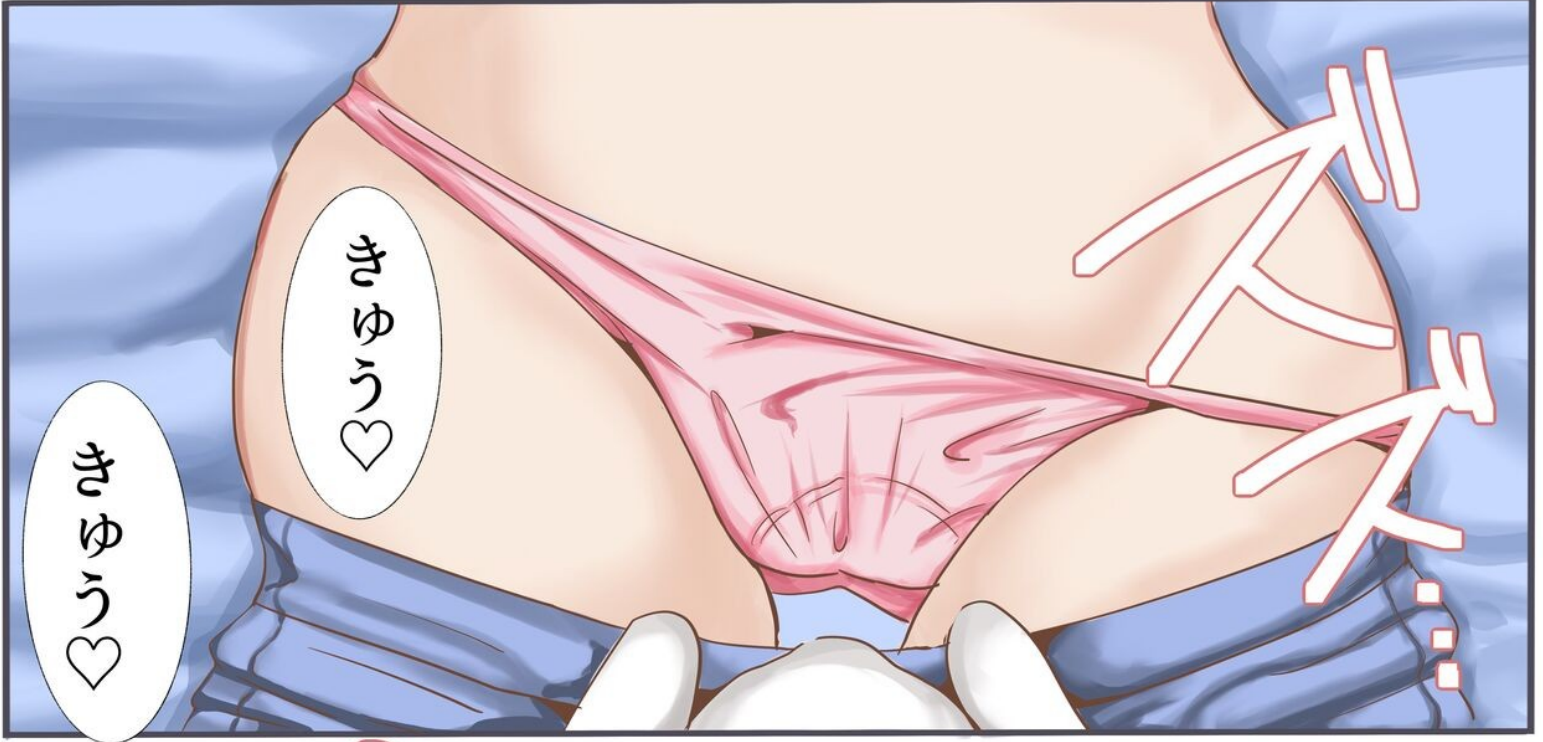
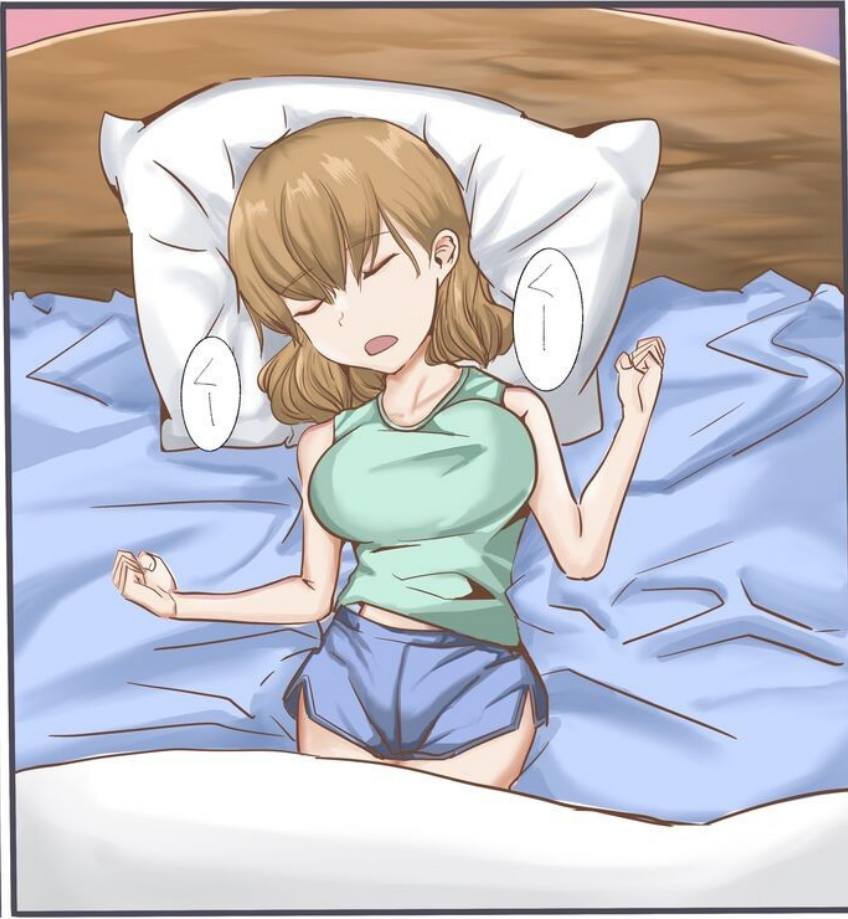


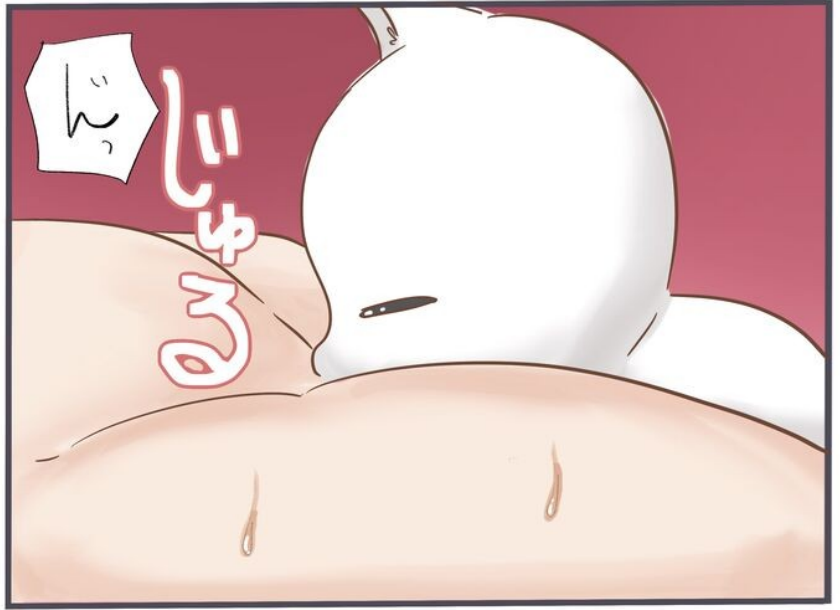
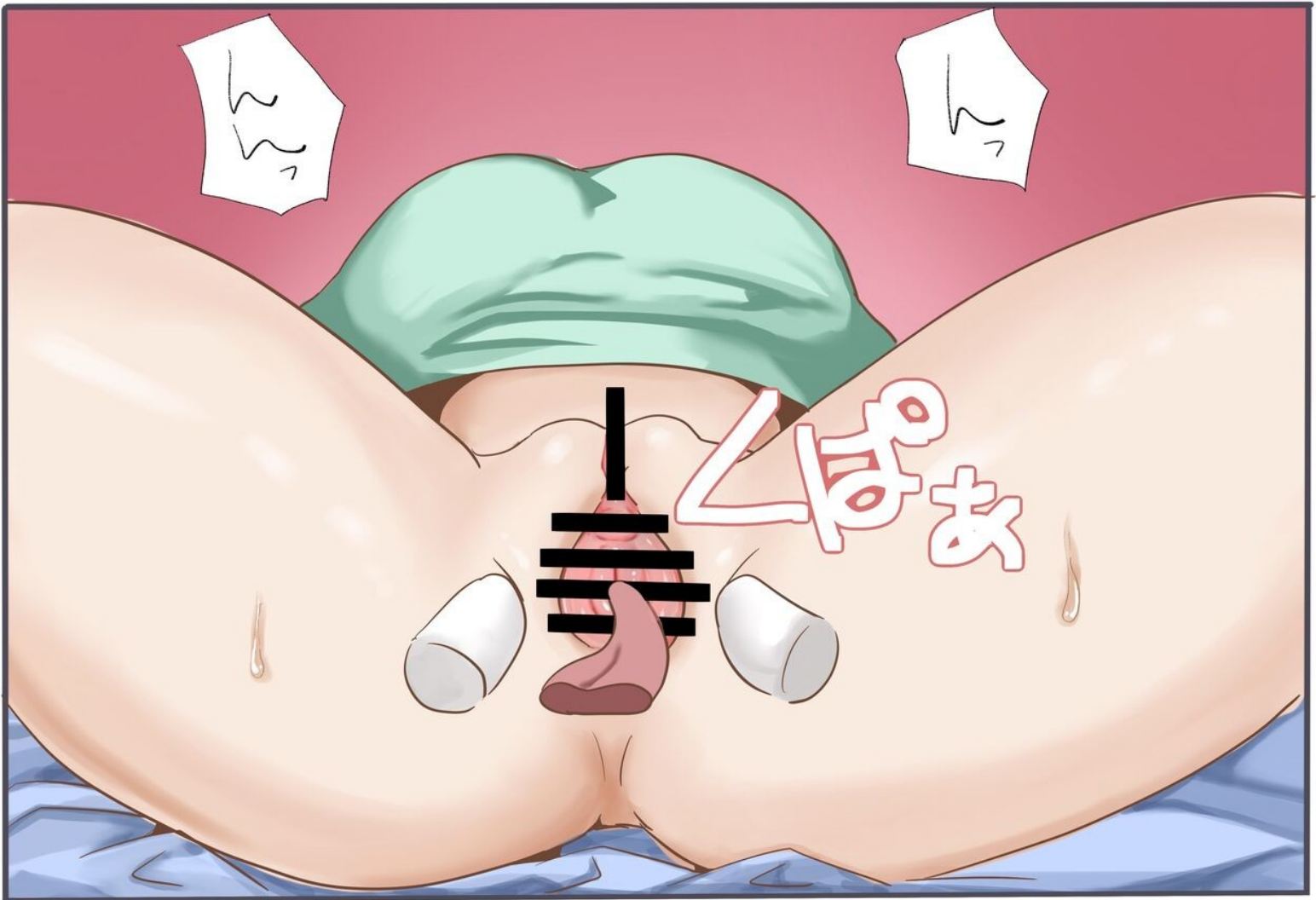
何かが
昇つて...

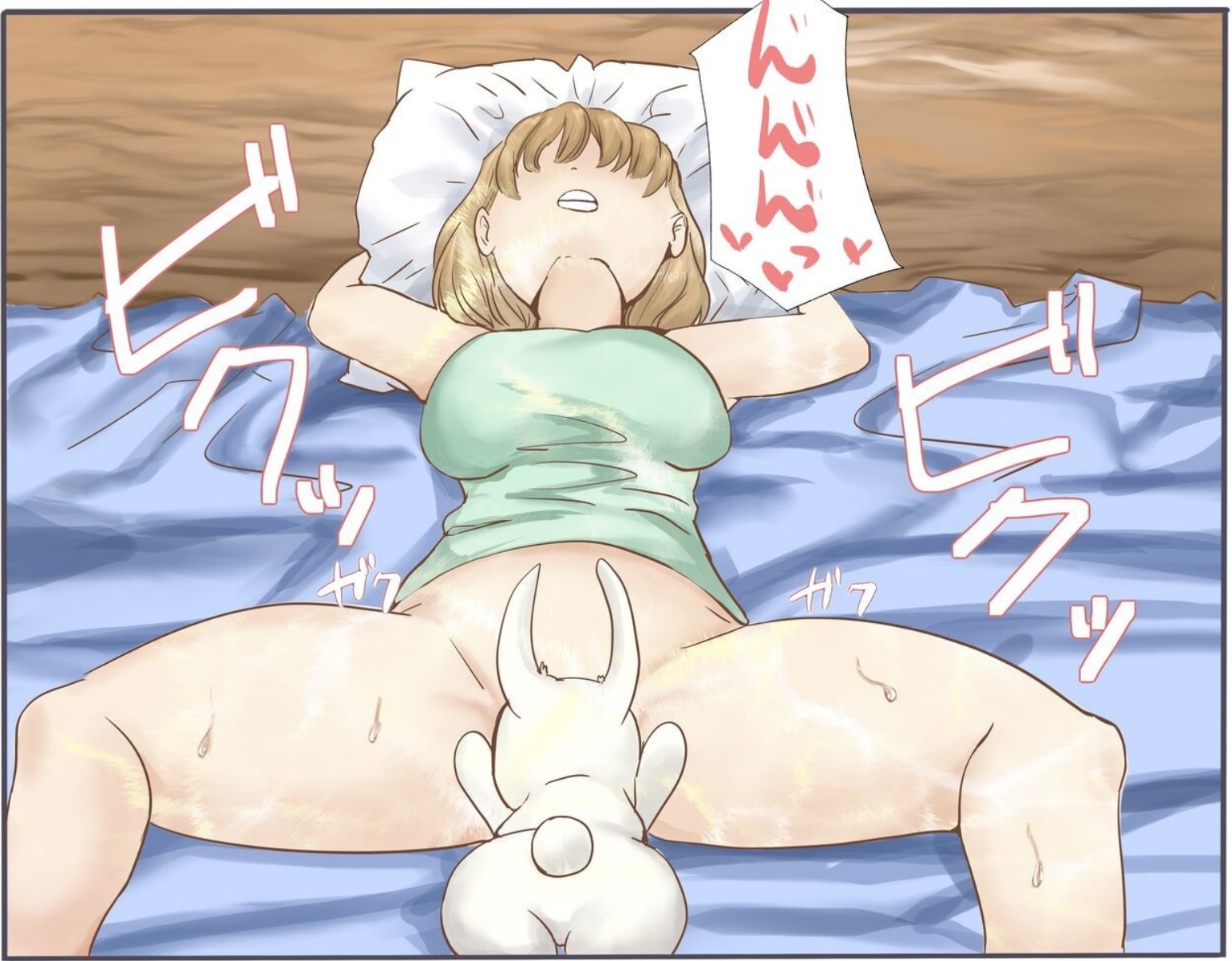
ぎんぐ

だんぐ

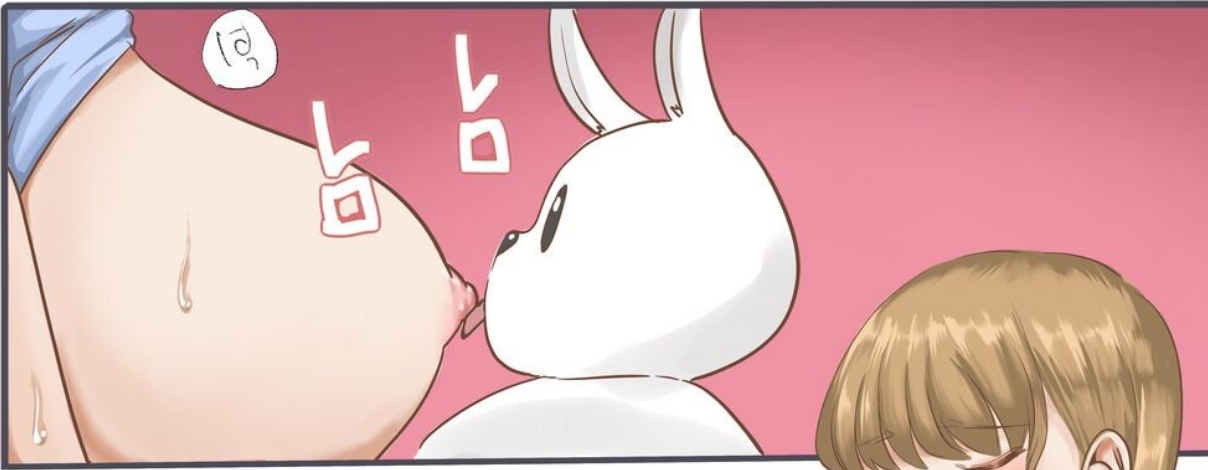




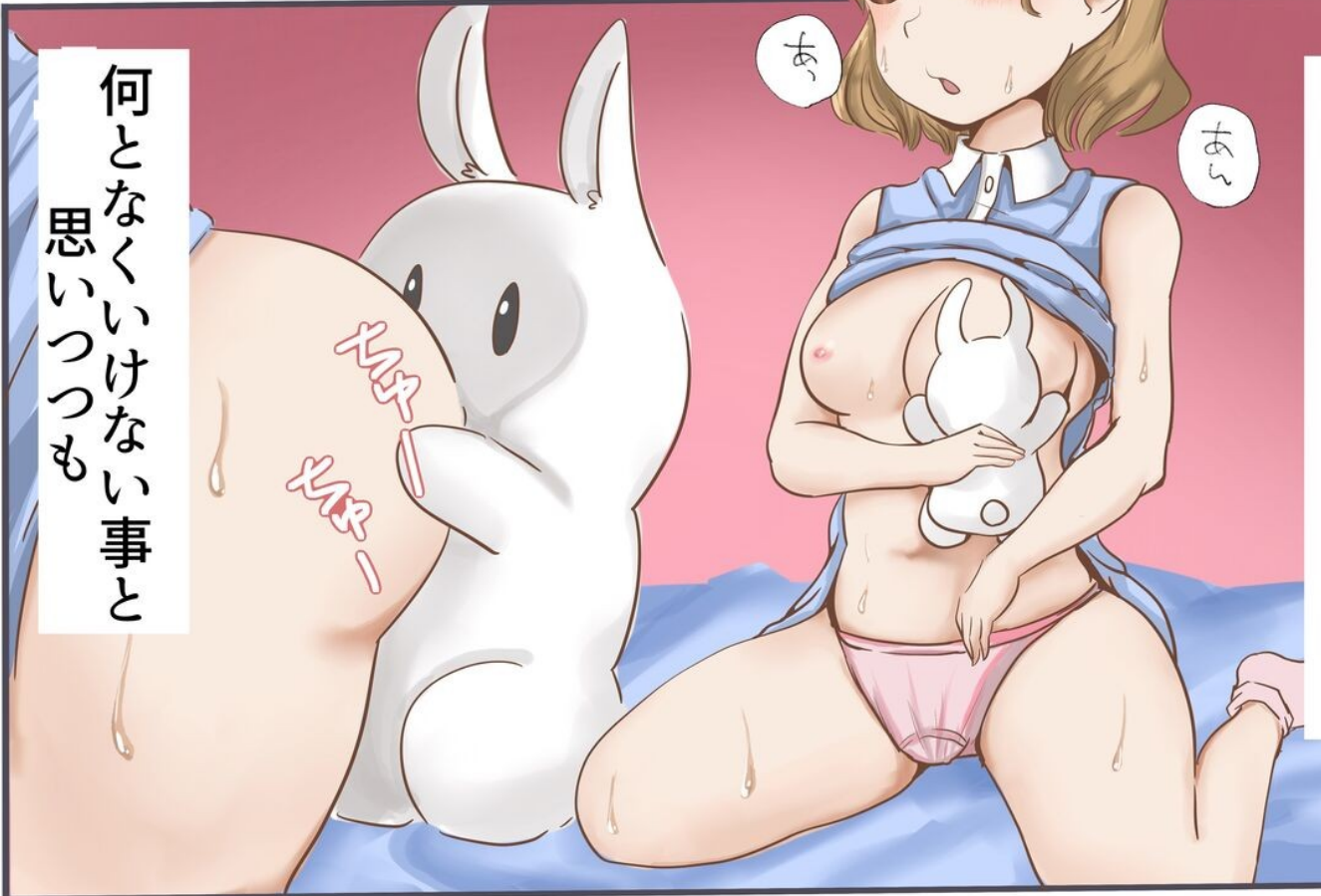




それから数日が過ぎ
キュウちゃんの
行為は日常化して



私はキュウちゃんの
もたらす甘い刺激に夢中にな
っていった

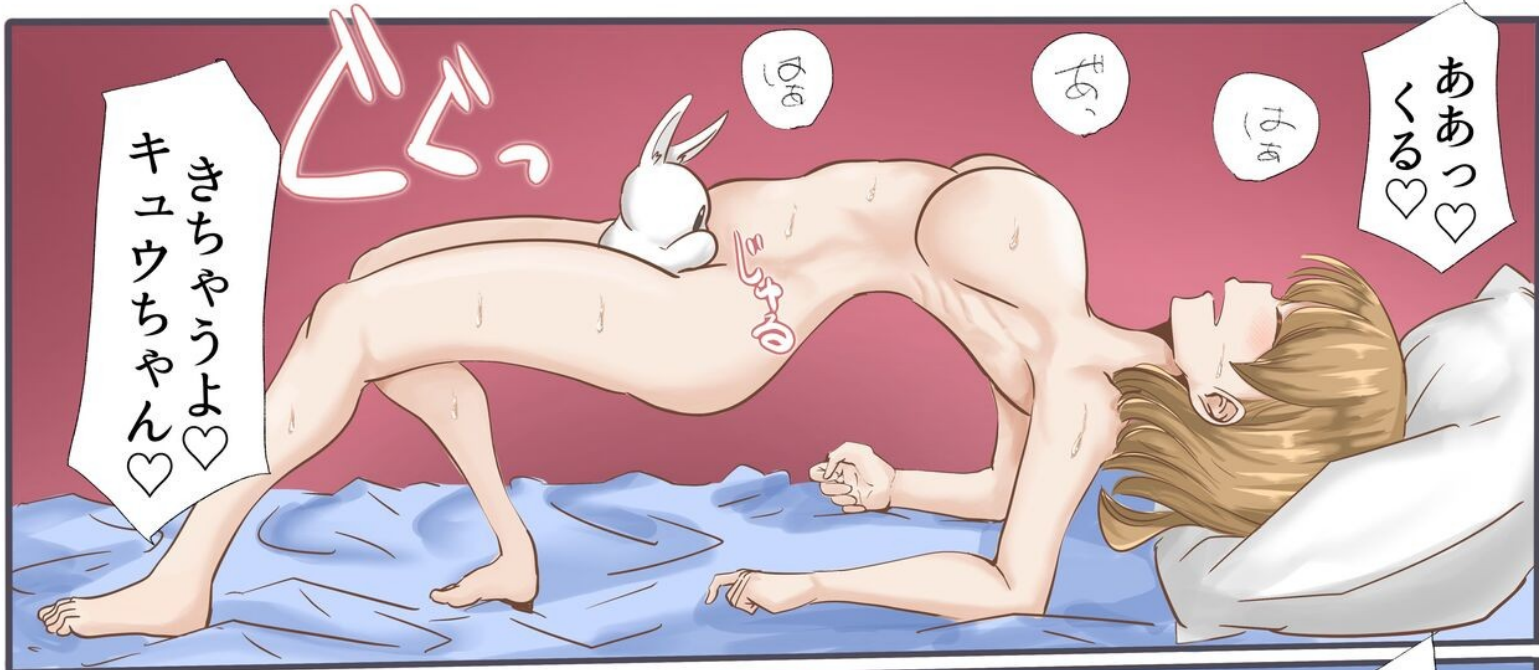


何となくいけない事と
思いつつも

躰を駆け巡る甘く甘美な
刺激に抗うことは出来ず



私はキュウちゃんの
行為を受け入れていった



あぁっ♡
くる♡

あ

あ

あ

ぐんぐん

きゅうちやうよ♡
きゅうちやん♡



あぁっ♡

ぐんぐん

ぐんぐん

もみもみ



いよいよ♡

あ

きゅうちやん♡



あ

あ



キユウちゃん♡
もっ♡

もっ♡と舐めて♡

じゅるり

じゅるり



もっ♡と♡
強い刺激を♡

私にちようだい♡

あ

あ

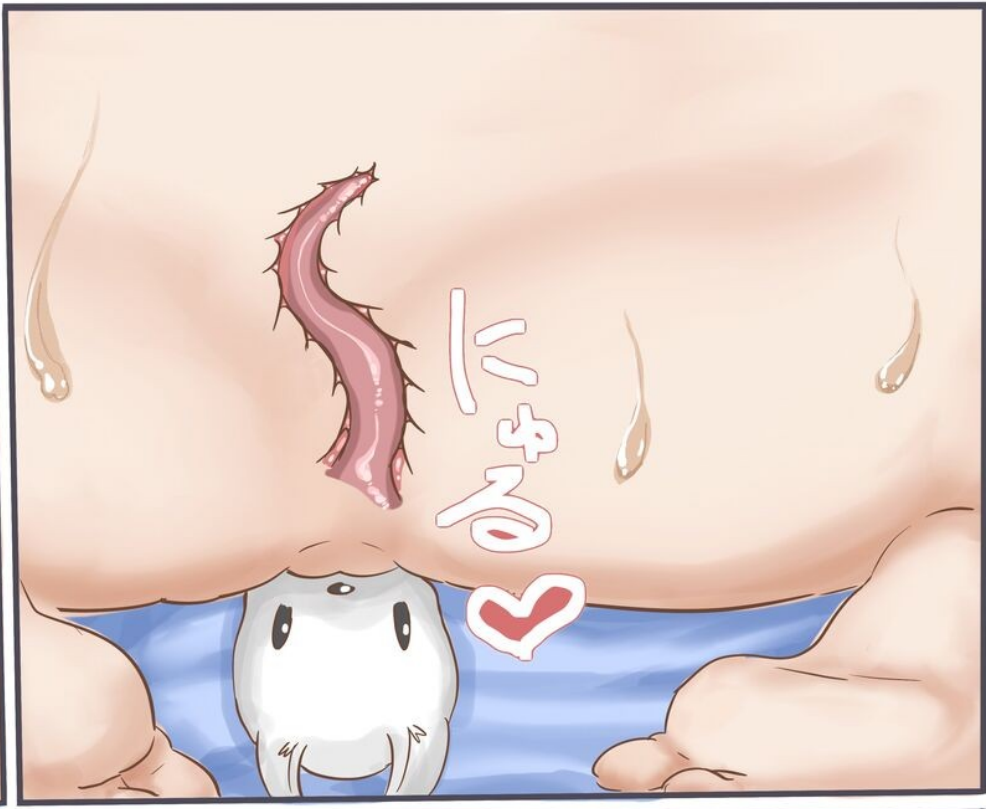
あ



な、何!?

あ

びびる



びびる



キュウちゃんの舌?

どど



キュウちゃん?

あ

あ

何して...

びびる

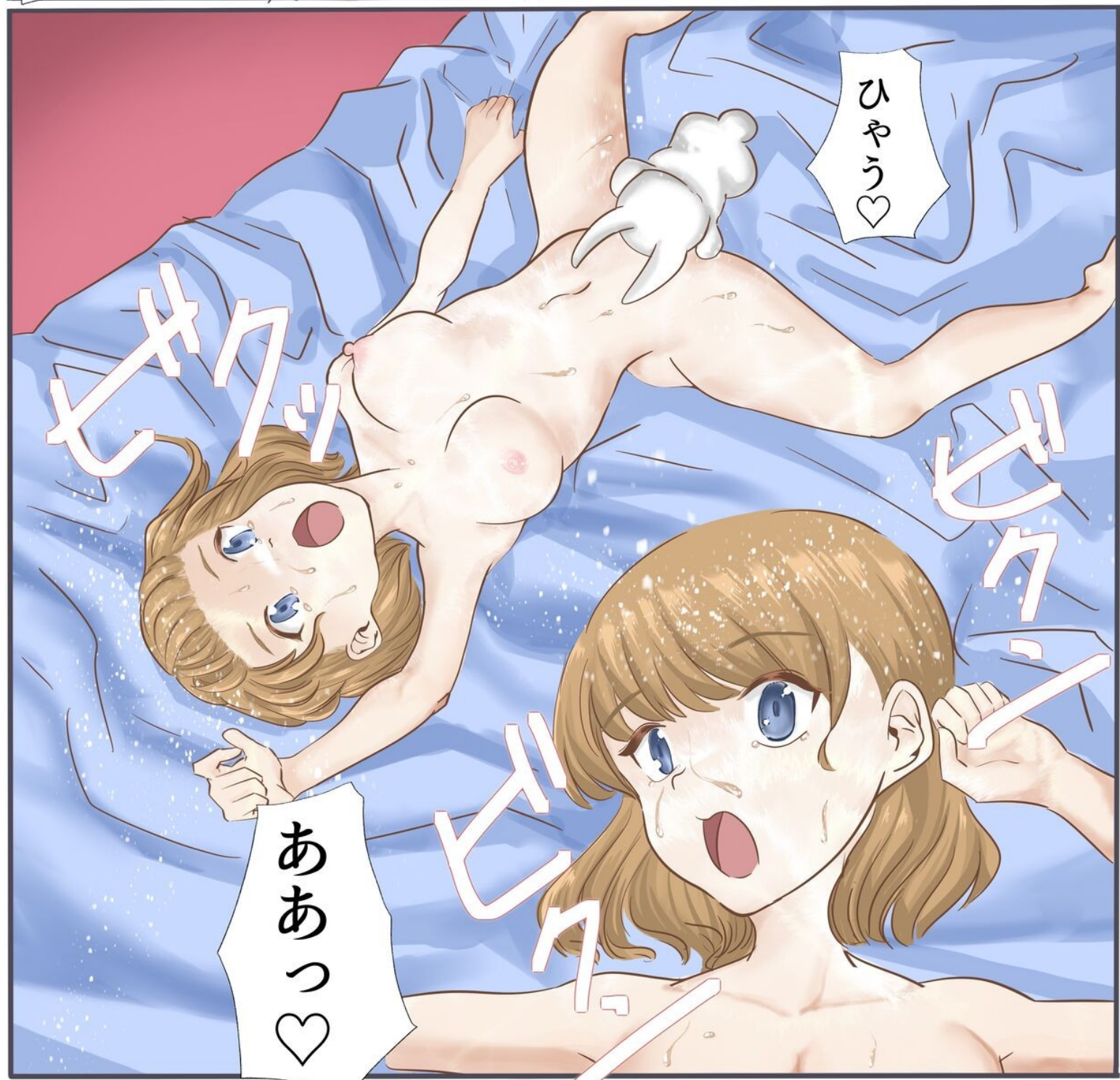
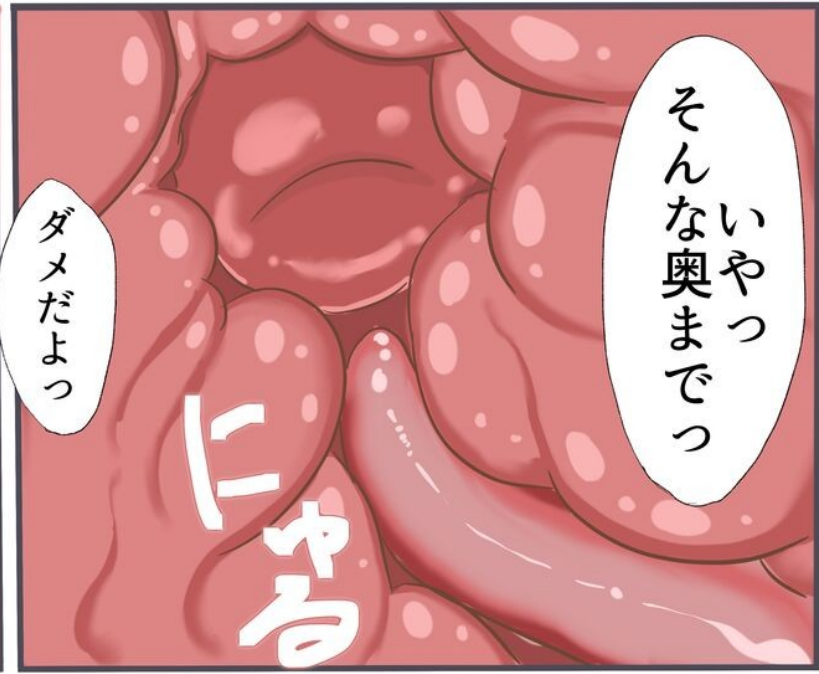
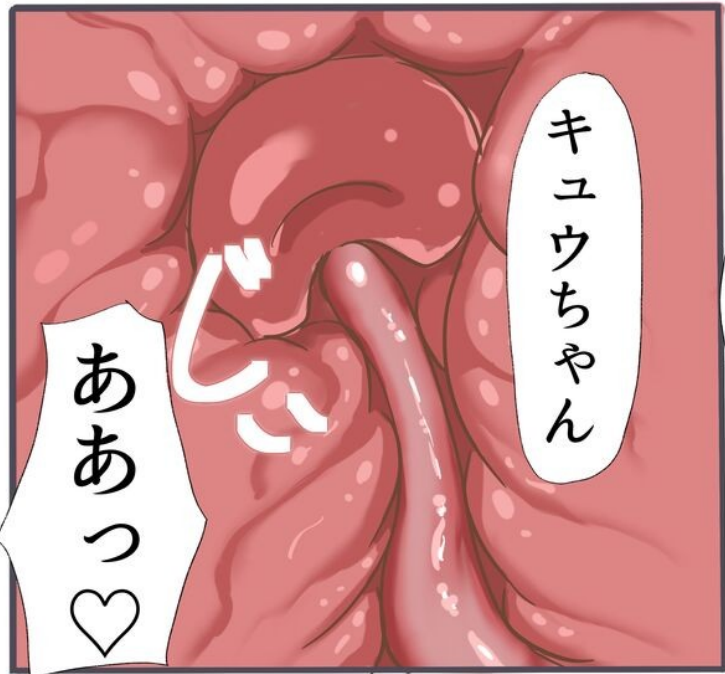


あ

どんどん入って...

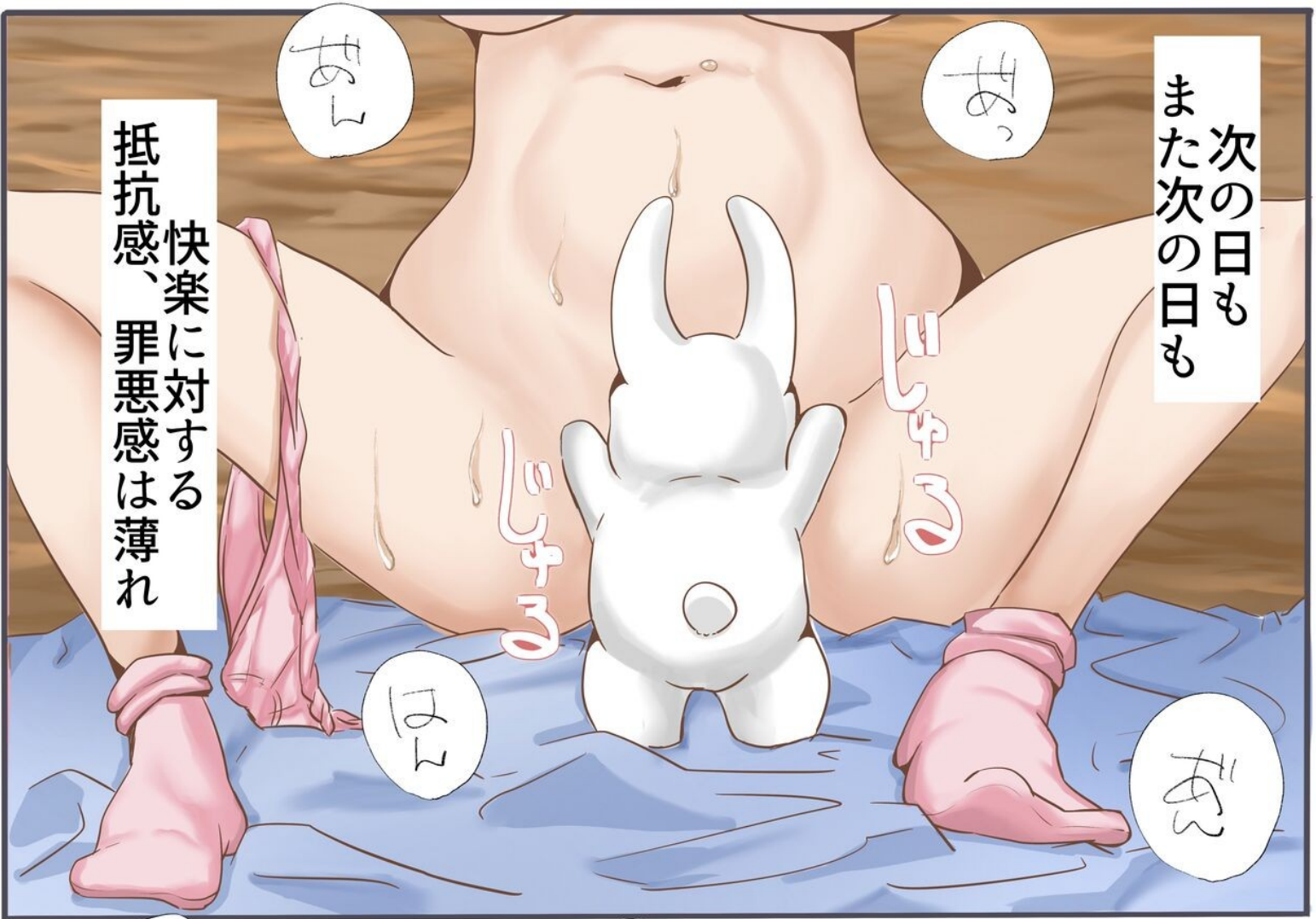
ながっ...

あ



次の日も
また次の日も

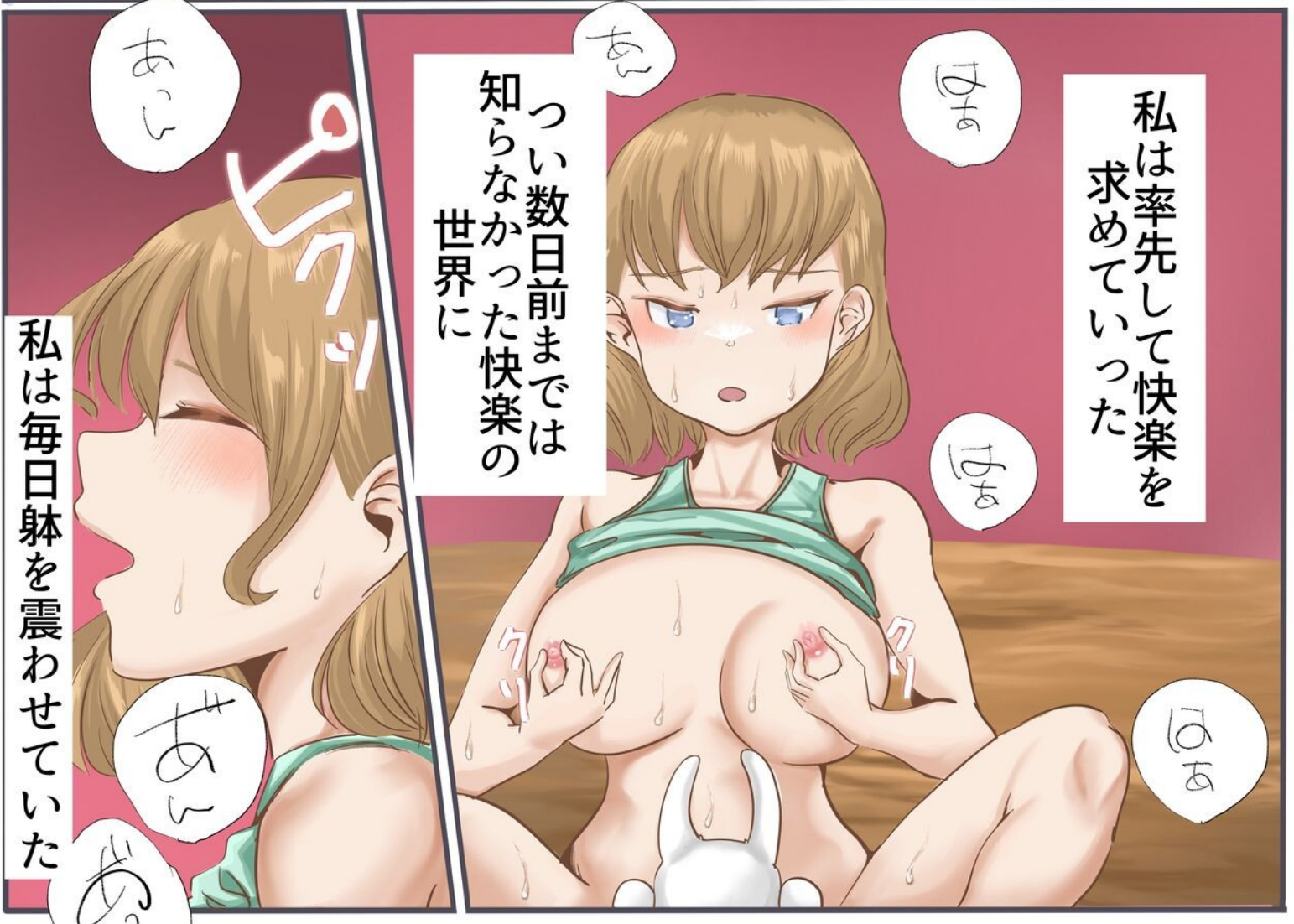
抵抗感、
快樂に対する
罪悪感は薄れ



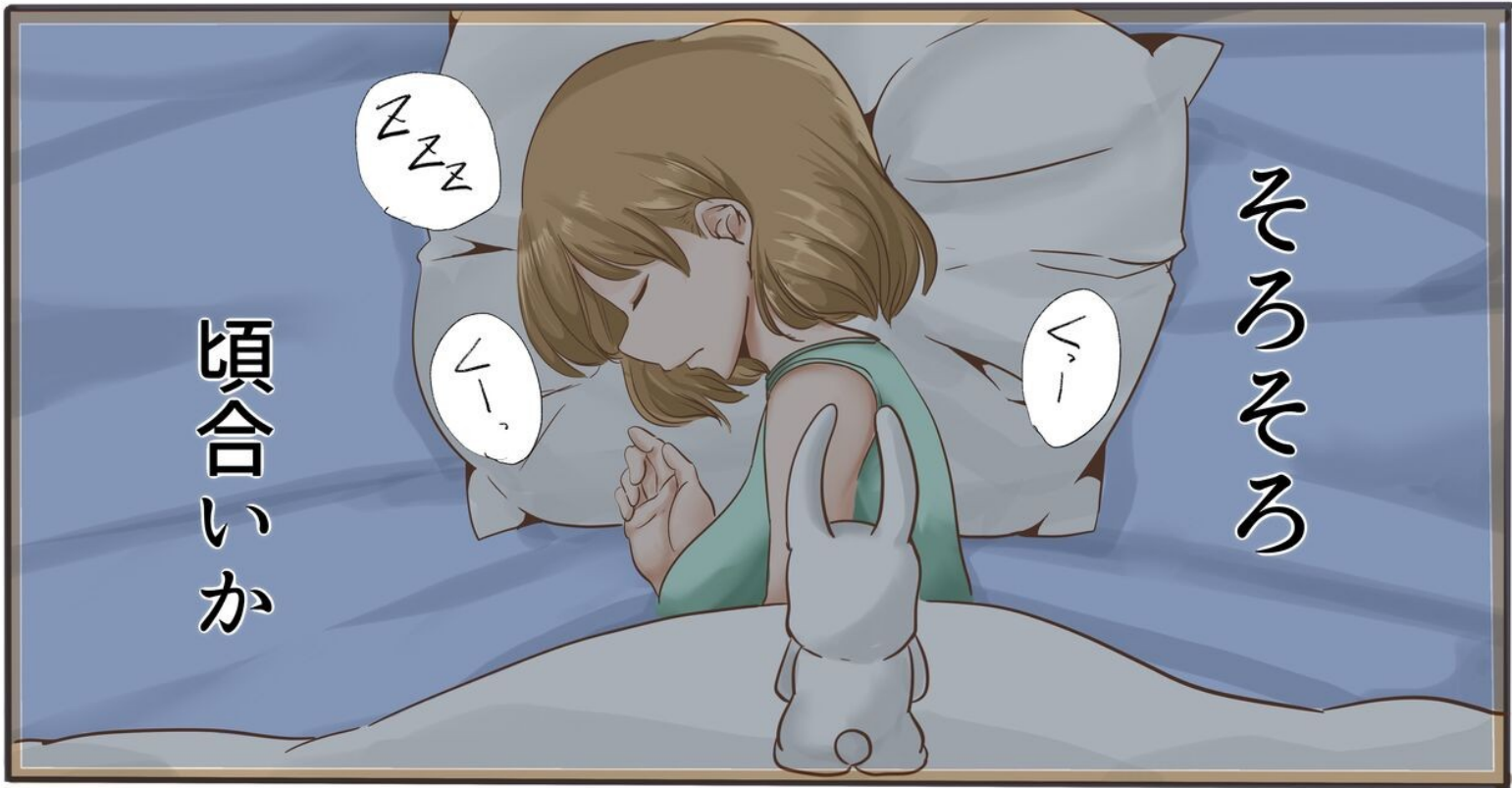
私は率先して快樂を
求めていった

つい数日前までは
知らなかった快樂の
世界に

私は毎日臍を震わせていた

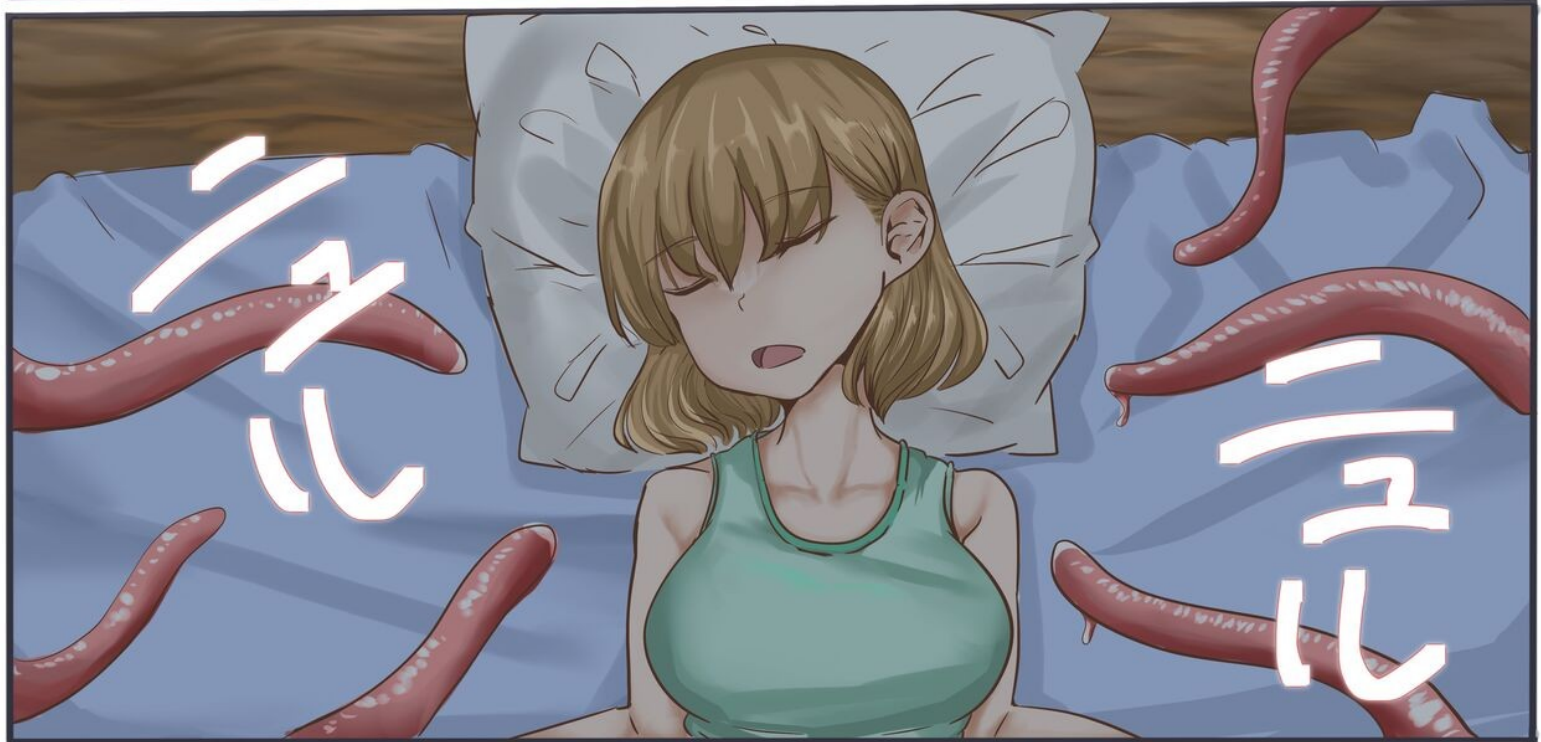
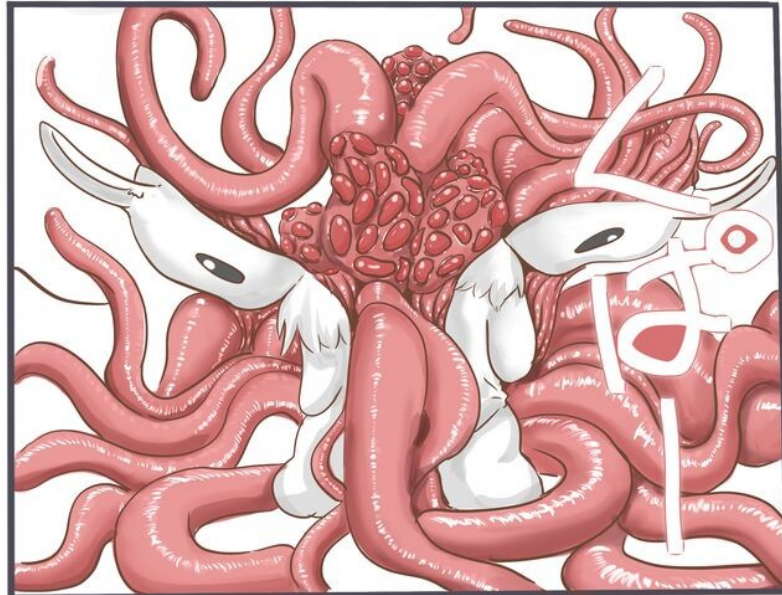






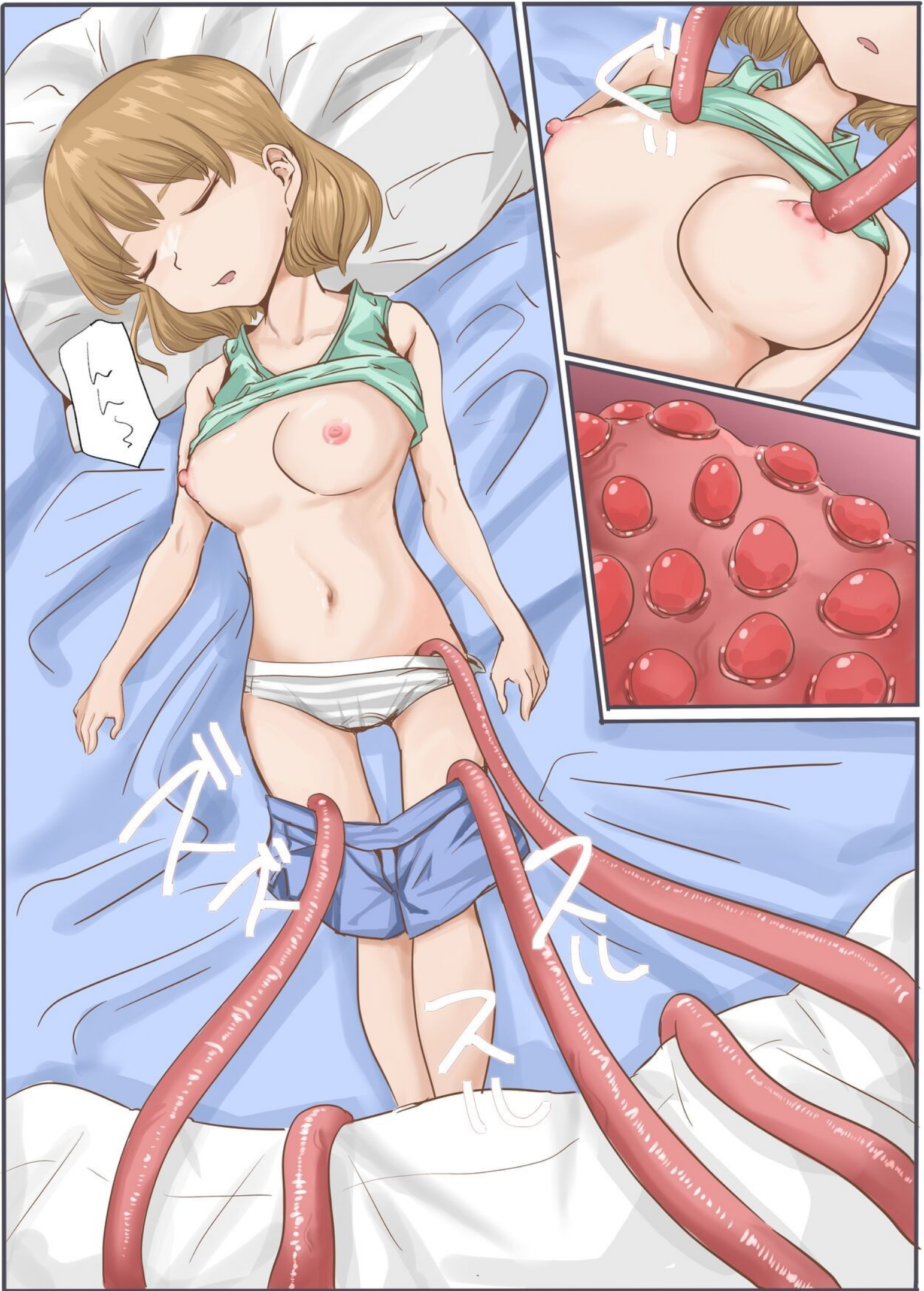
頃合いか

そろそろ



きゅー

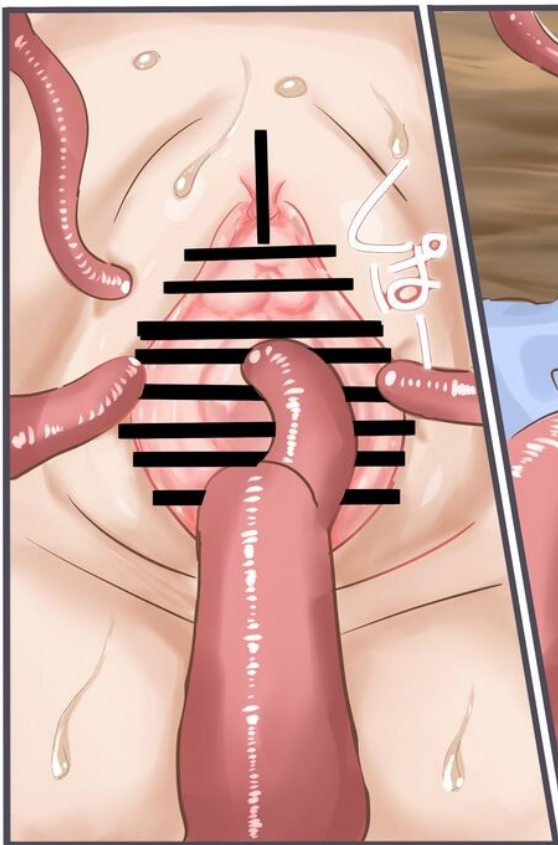
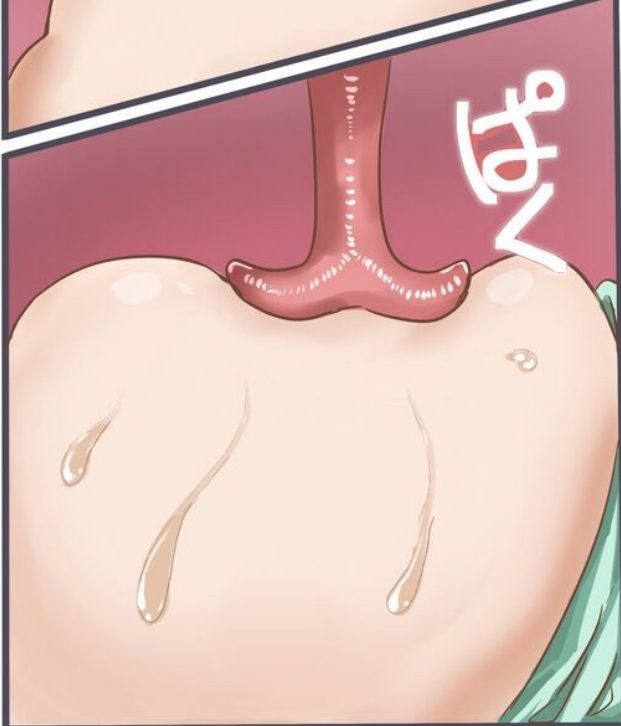
きゅー

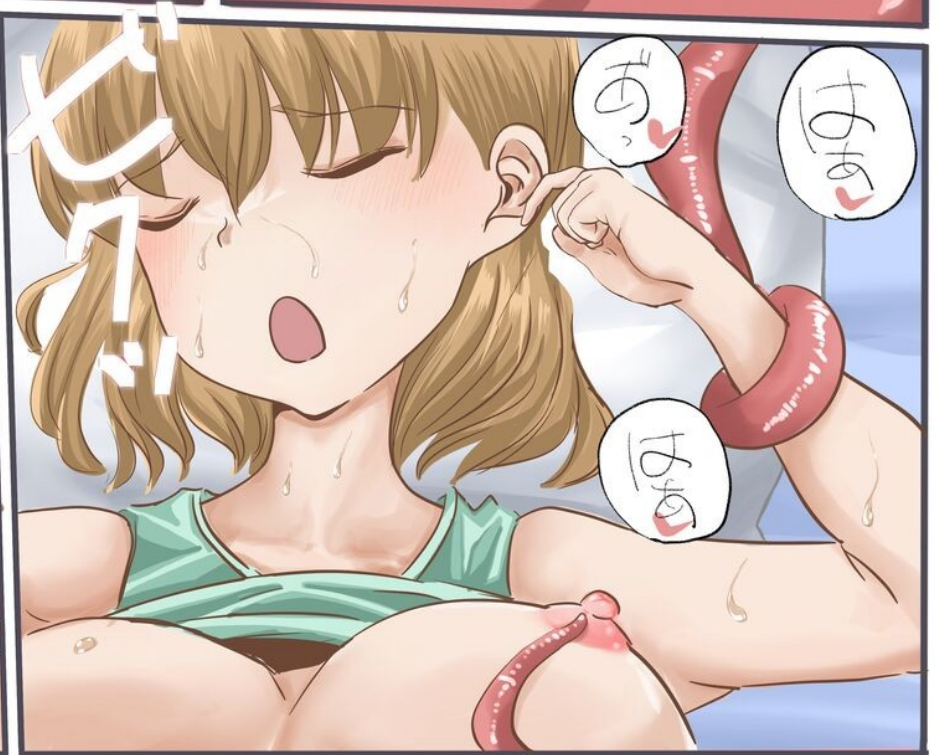
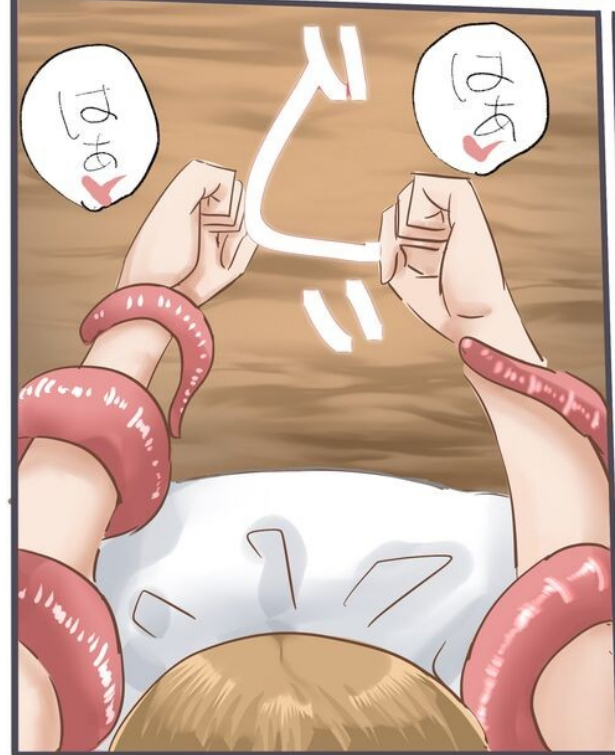
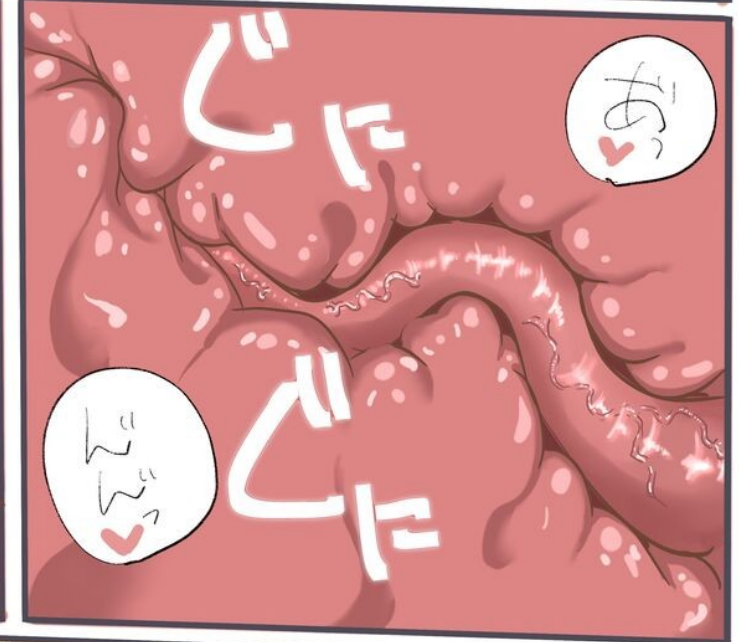
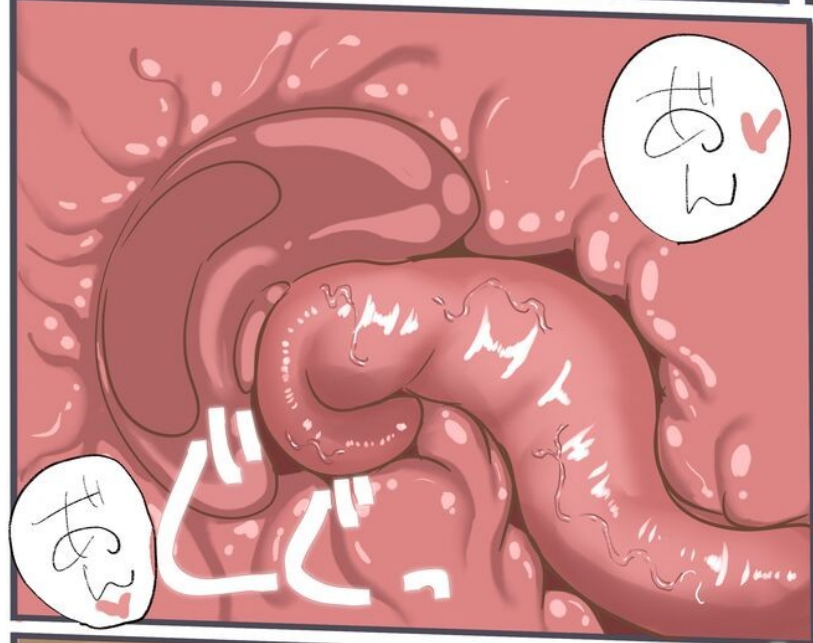
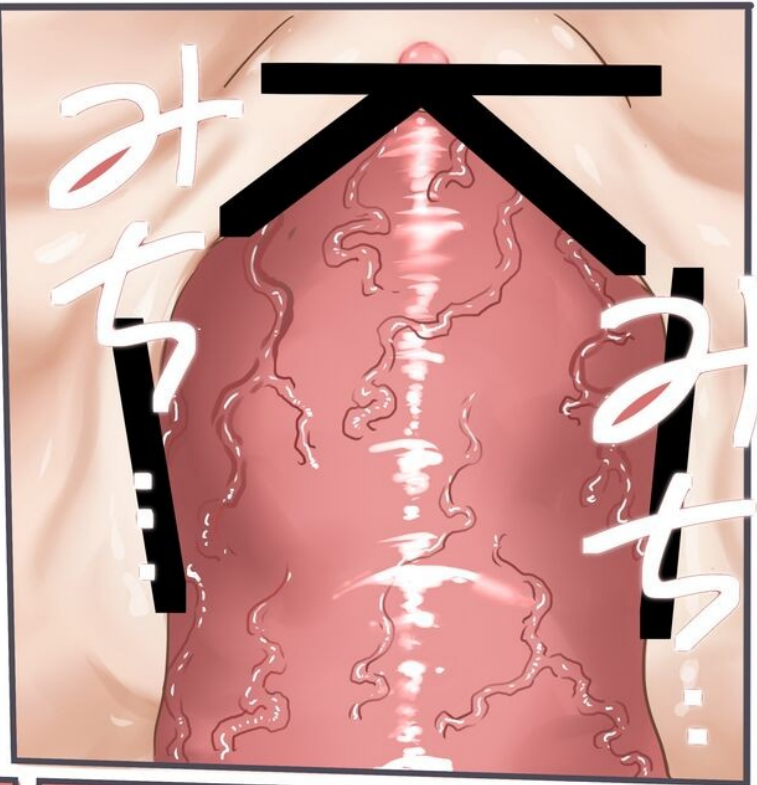
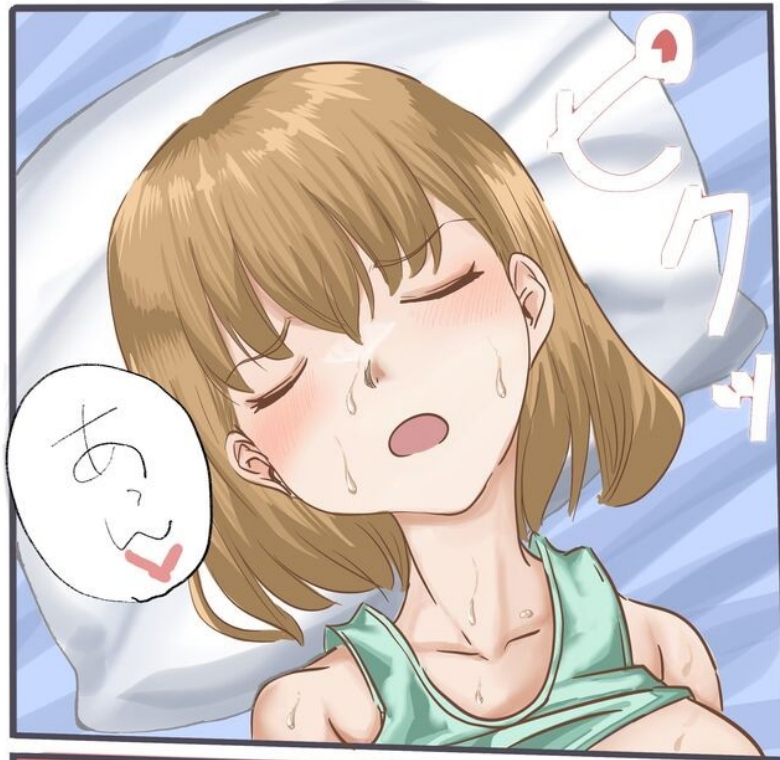


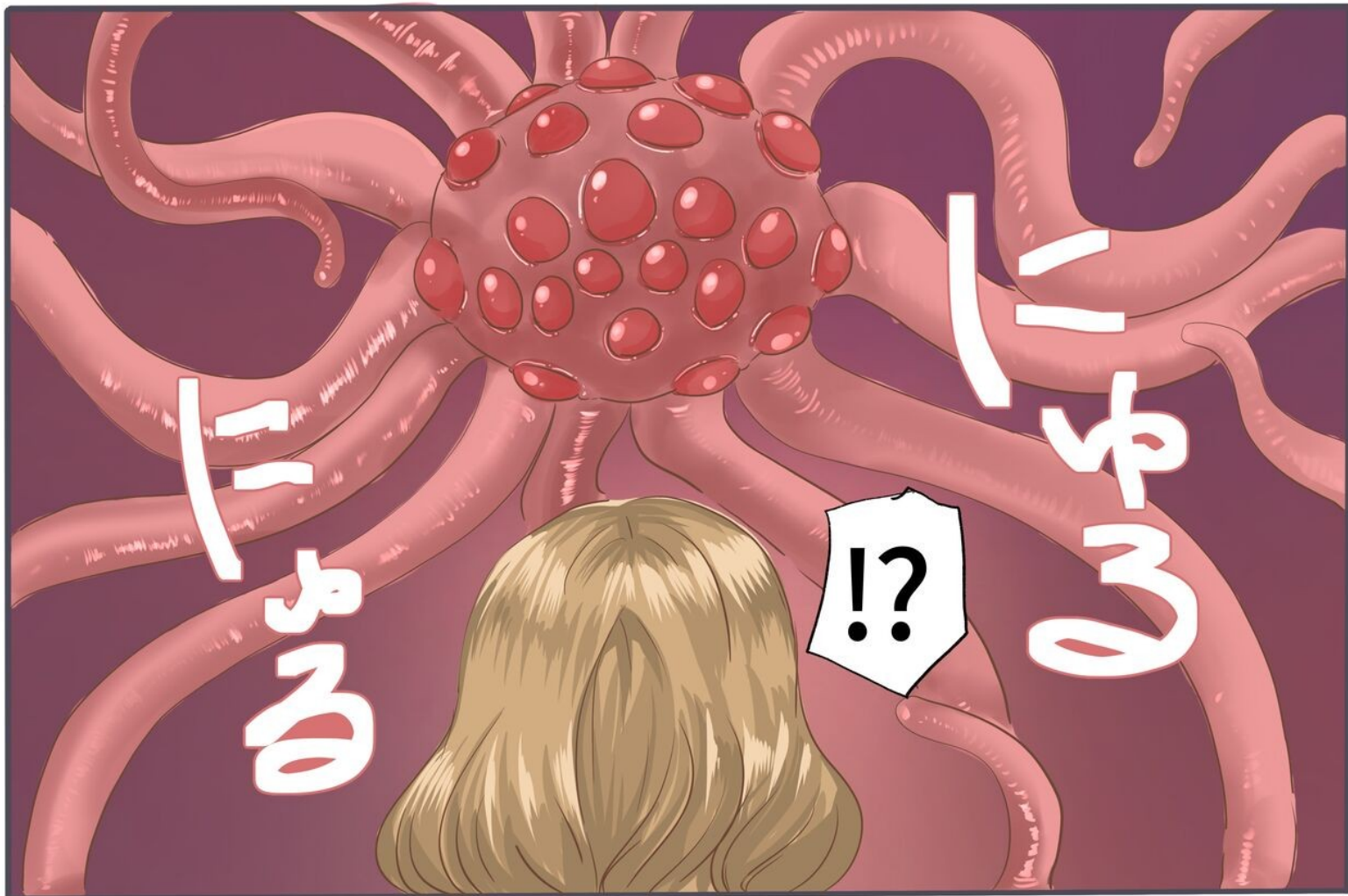
32

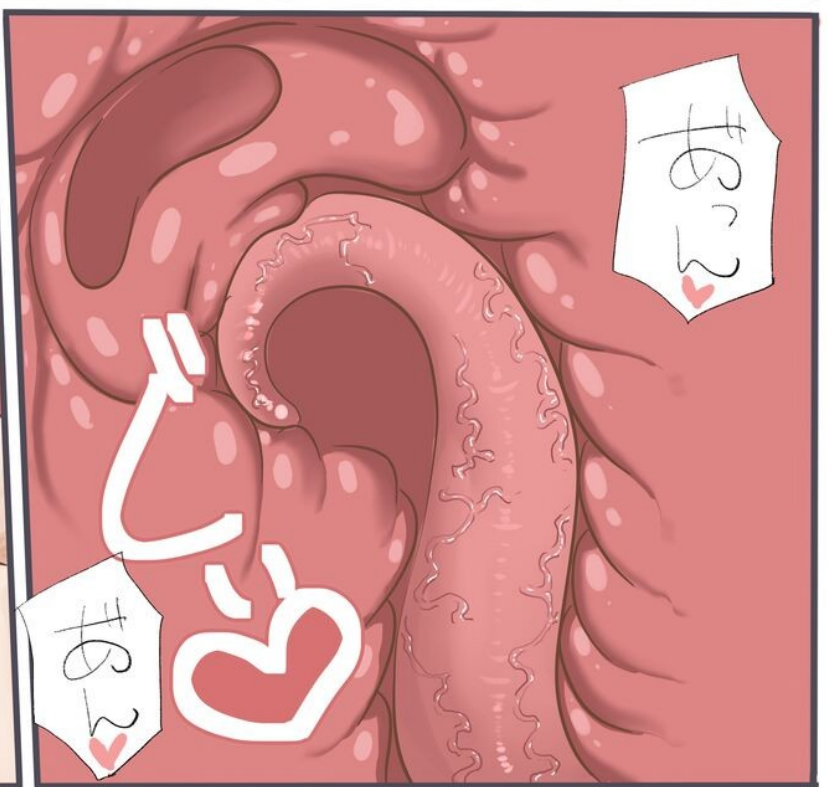
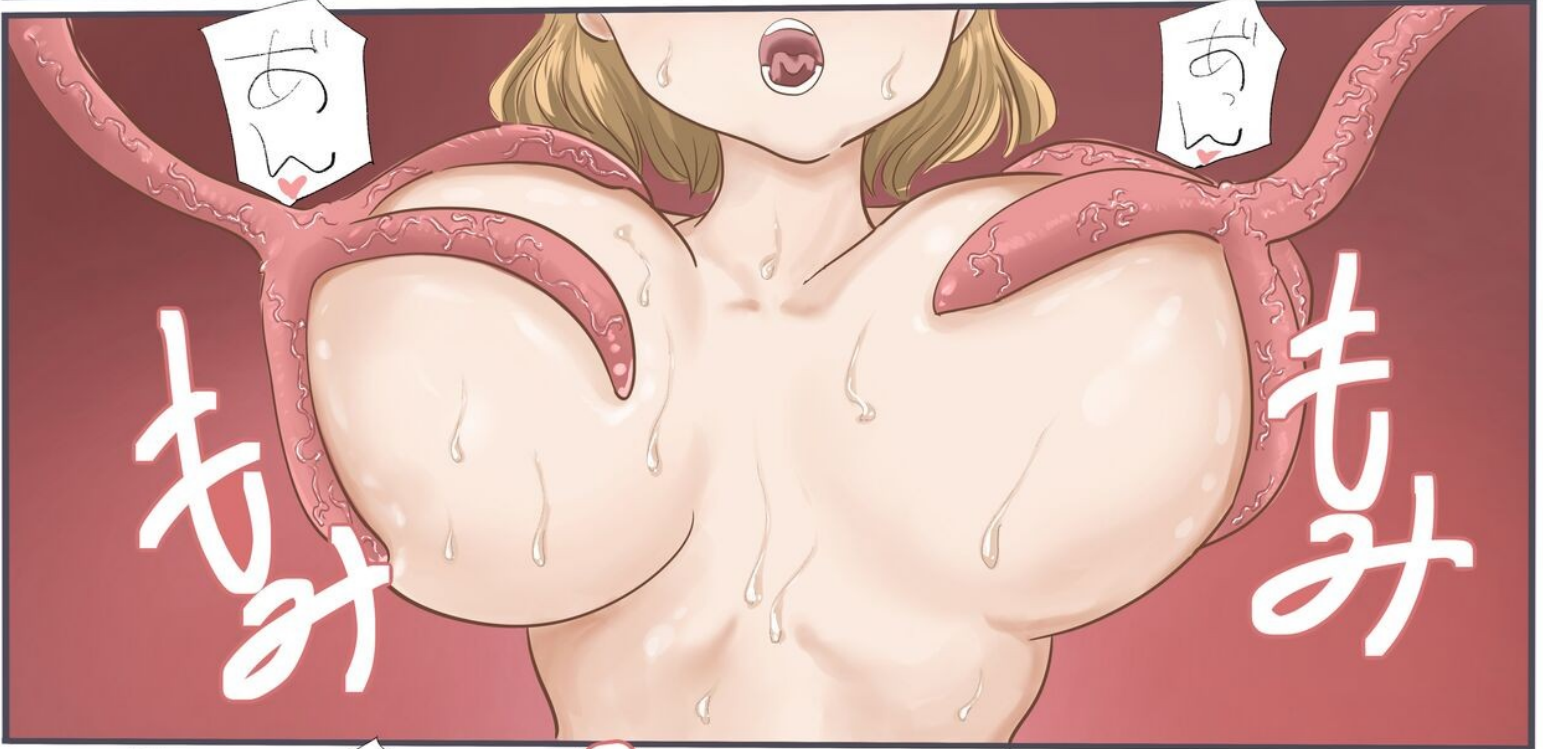
ス
ス

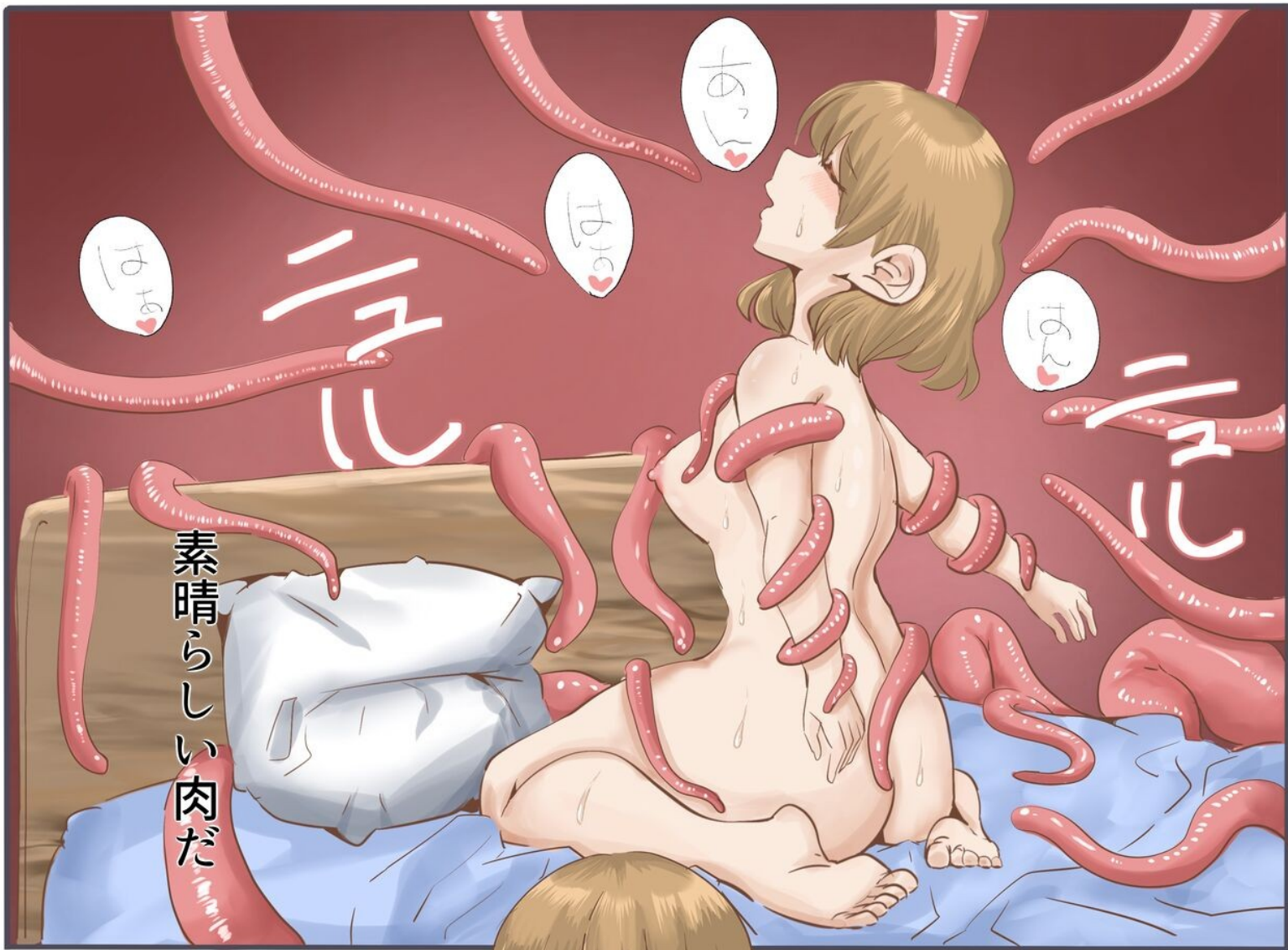
ス
ス
ス











素晴らしい肉だ



この雌は繁殖に最適のようだ

肉の愉悅を愉しむがいい

我が繁殖まで





もつと雌を自覚しろ

もつと高揚しろ

さあもつとだ

クリもつと喘げ

ドキュ
ドキュ



雌としての
役目を果たすのだ

びい



ぬぷい

ぬぷい

繁殖のために
卵を生成せよ



差し出せ

さあ
我におまえの卵を



貰うぞおまえの遺伝子

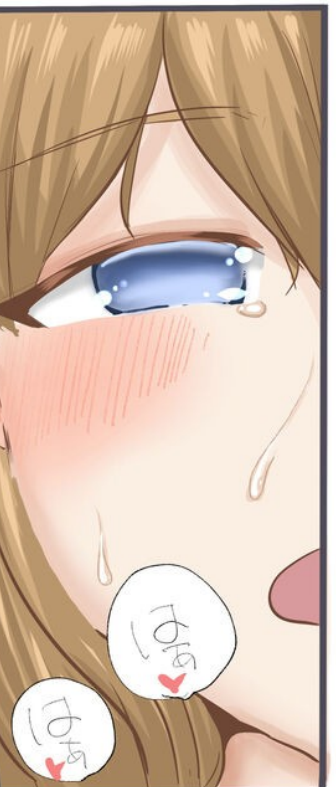
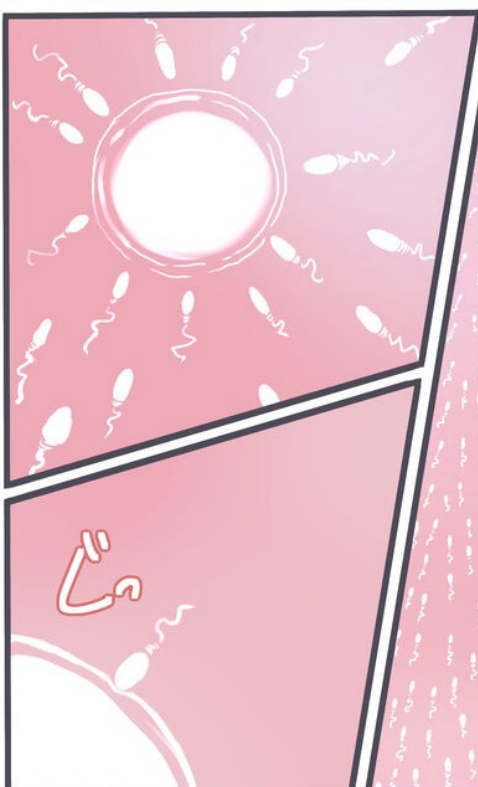
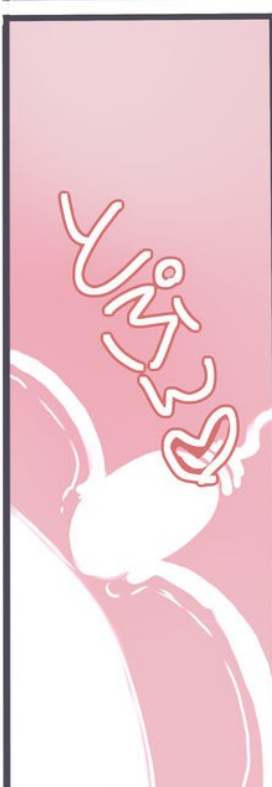
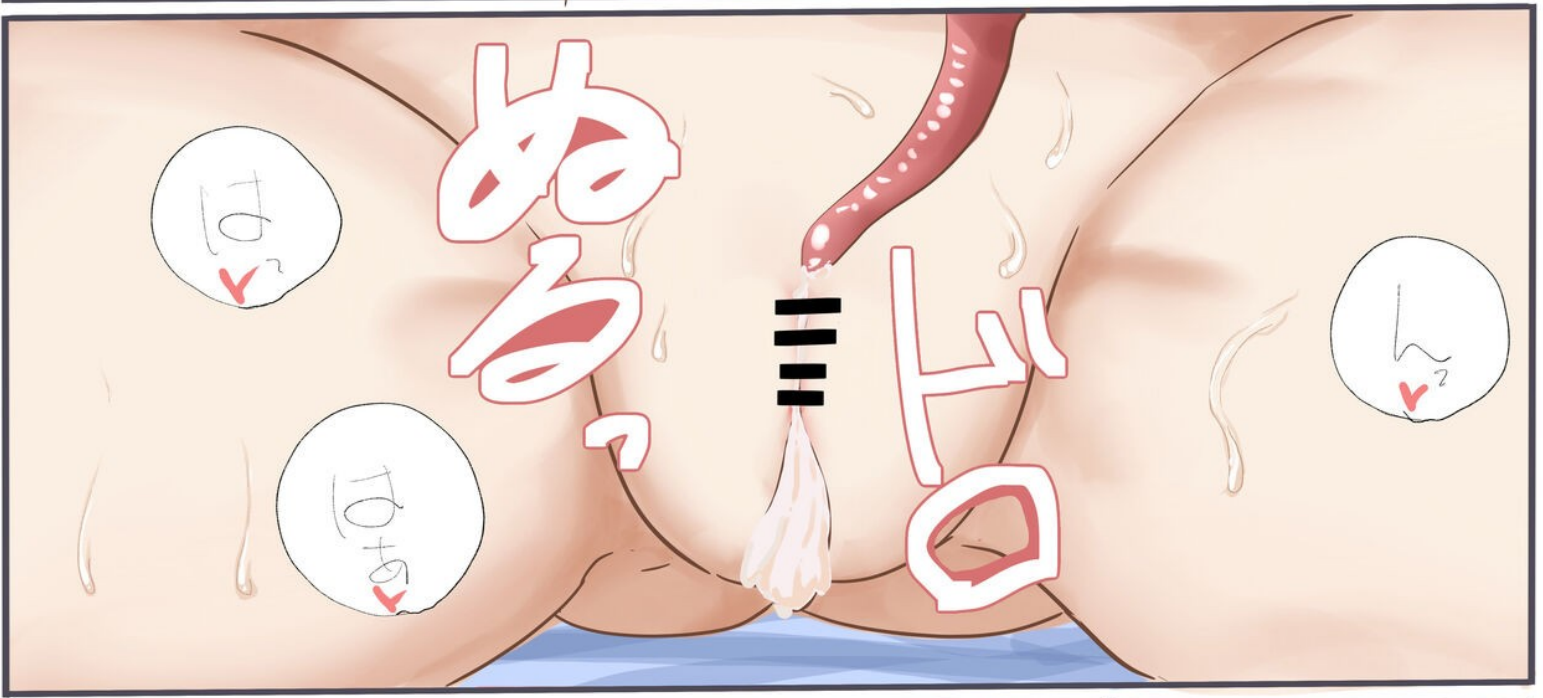
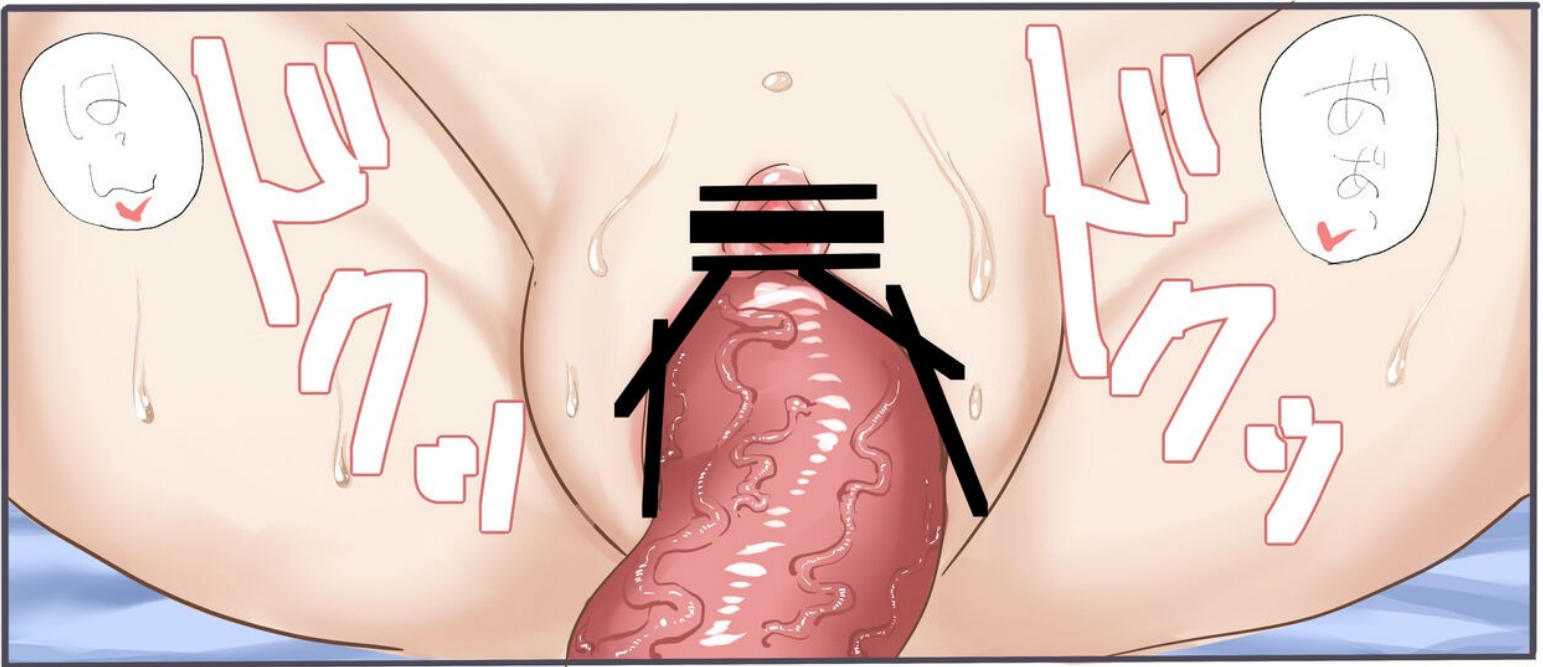
遂に観念して卵を出したか

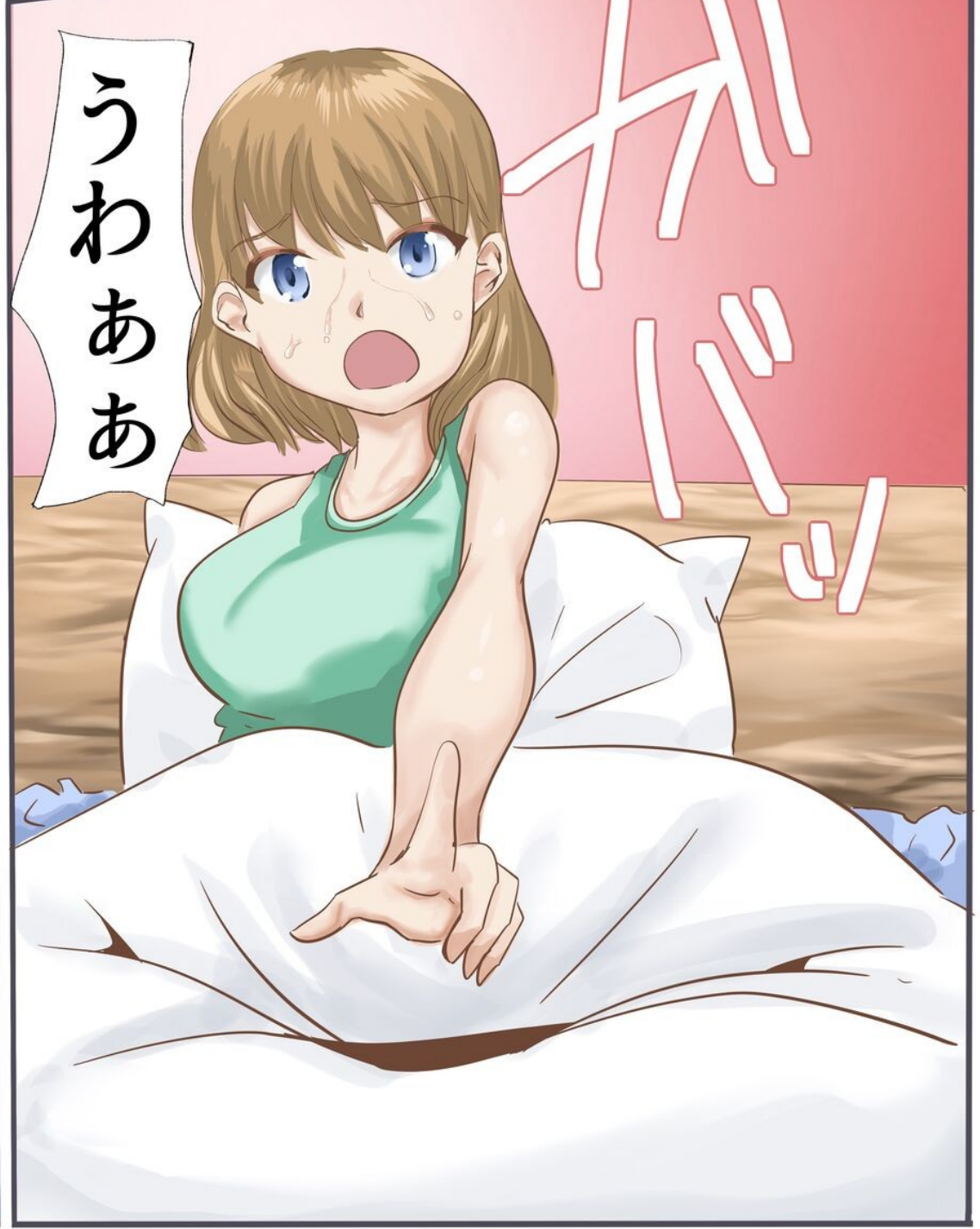
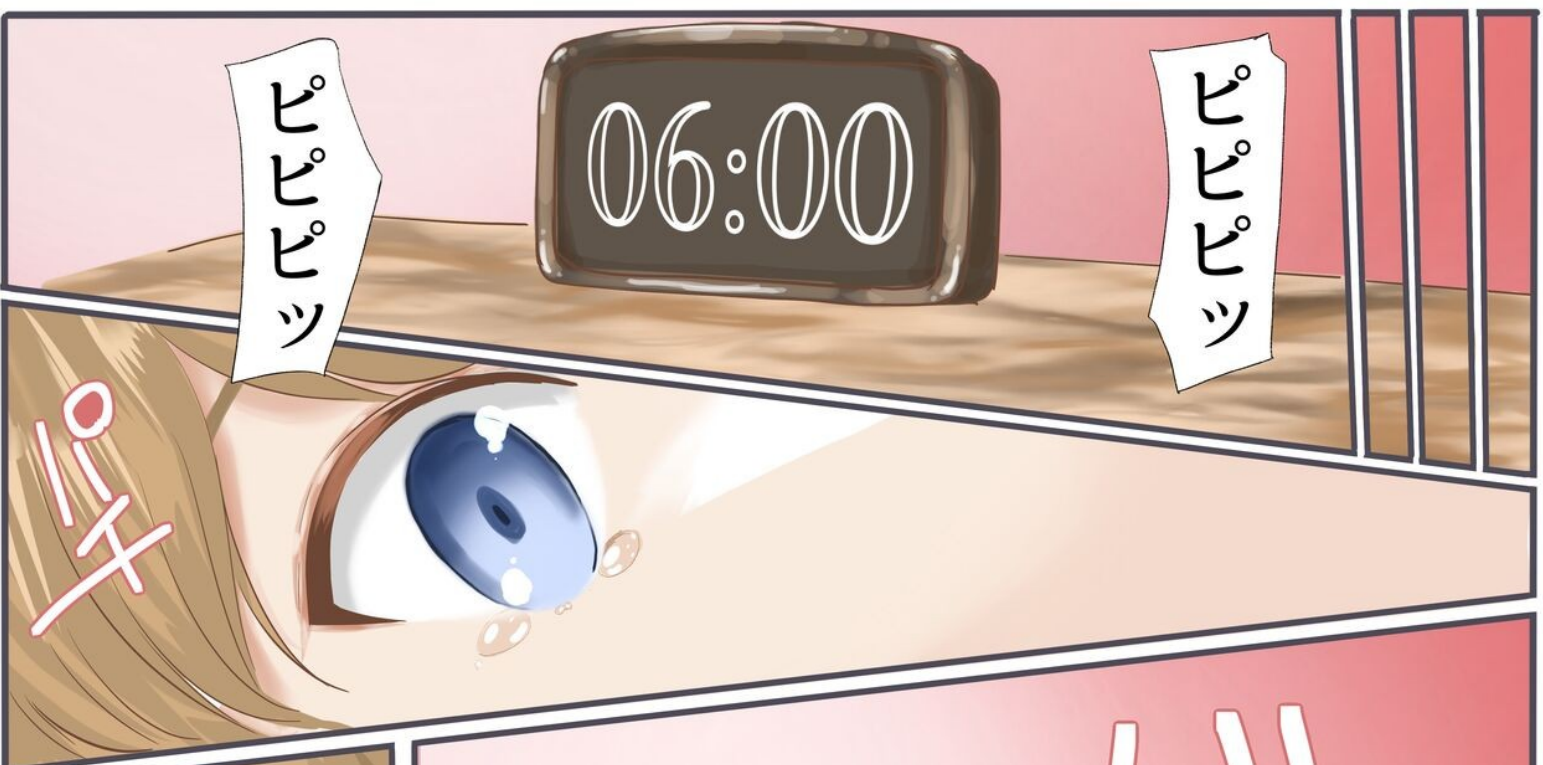


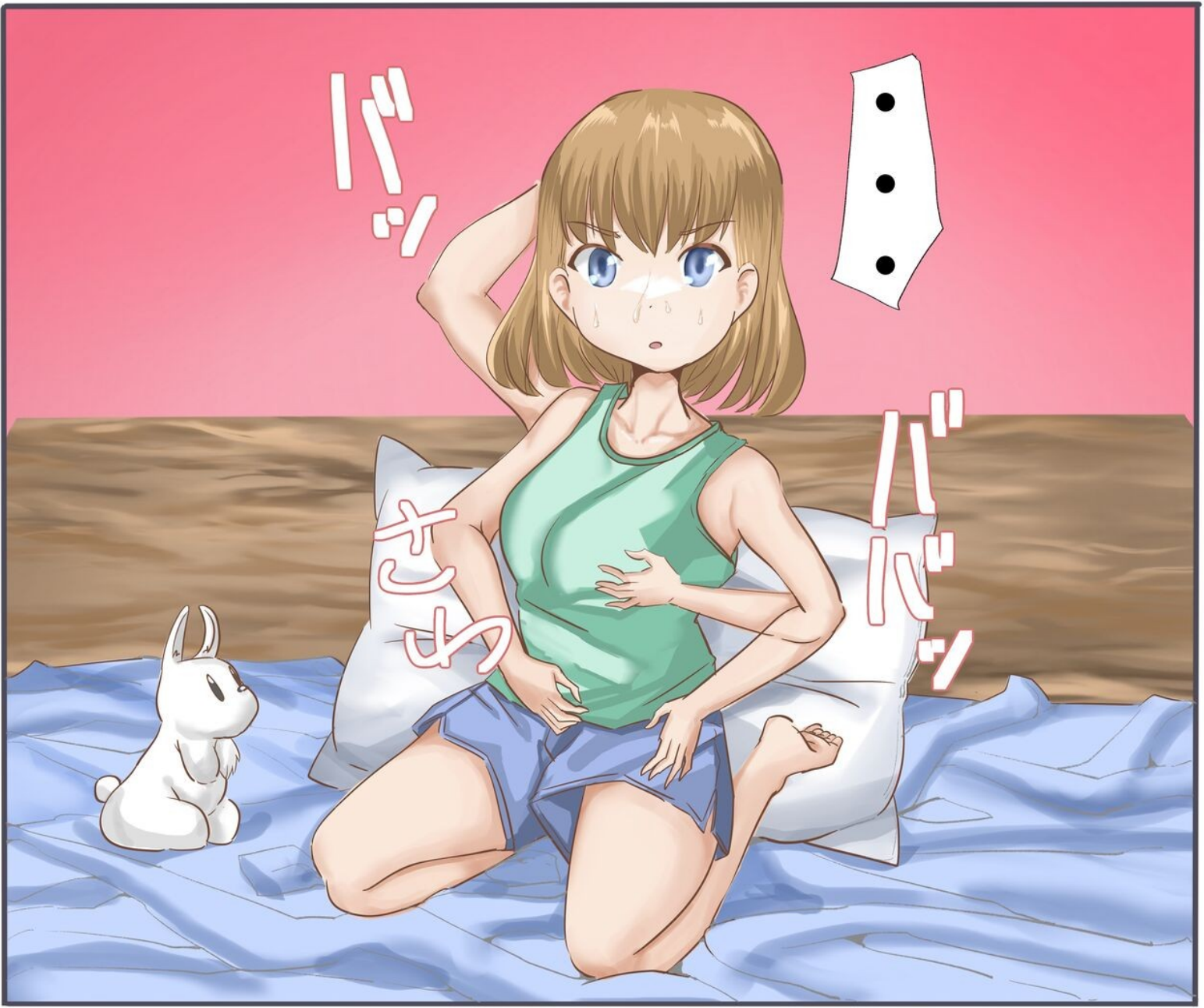
ああっ♡

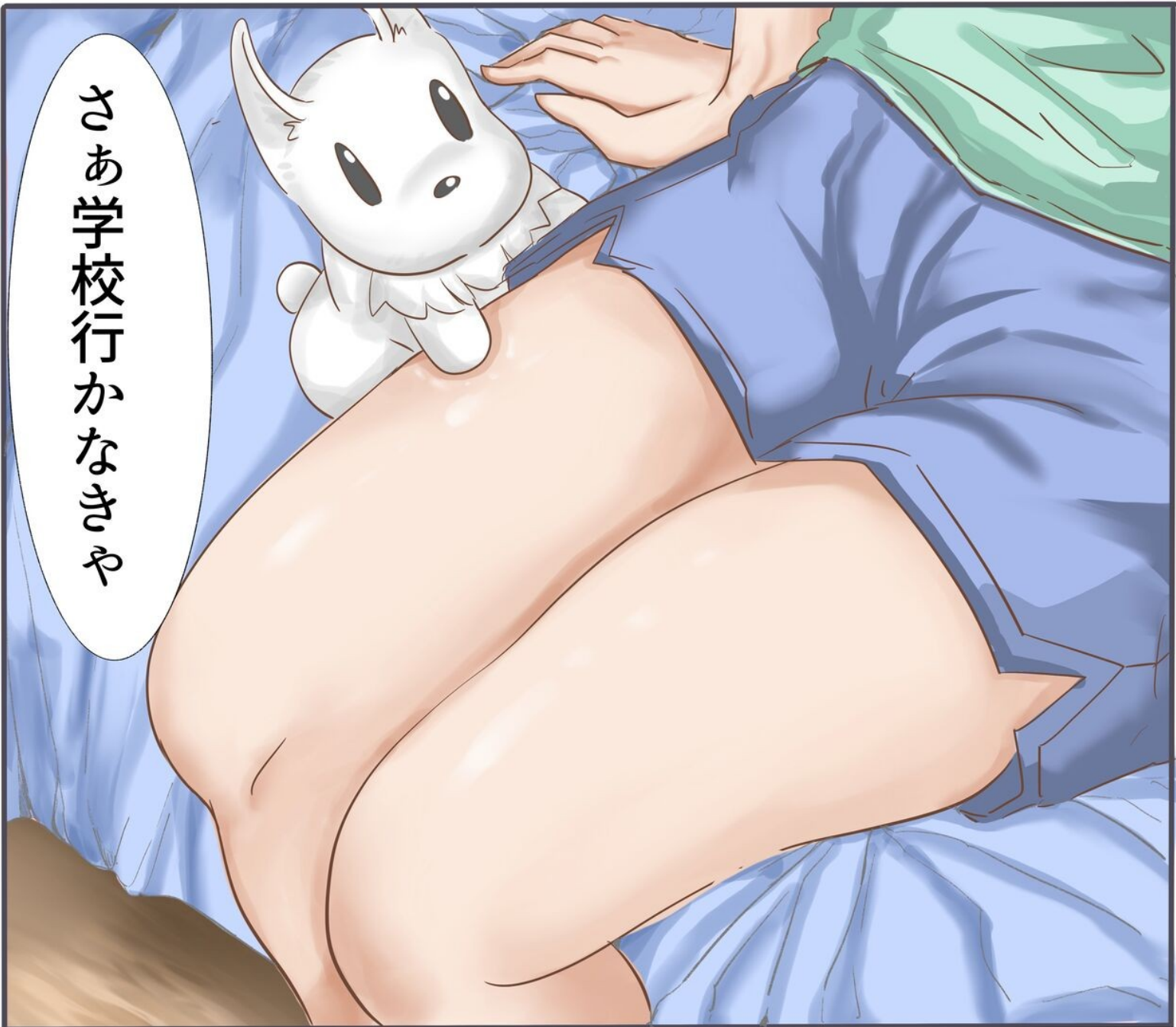
我が種の餌食となれ

どぱっ♡
どちゅ♡

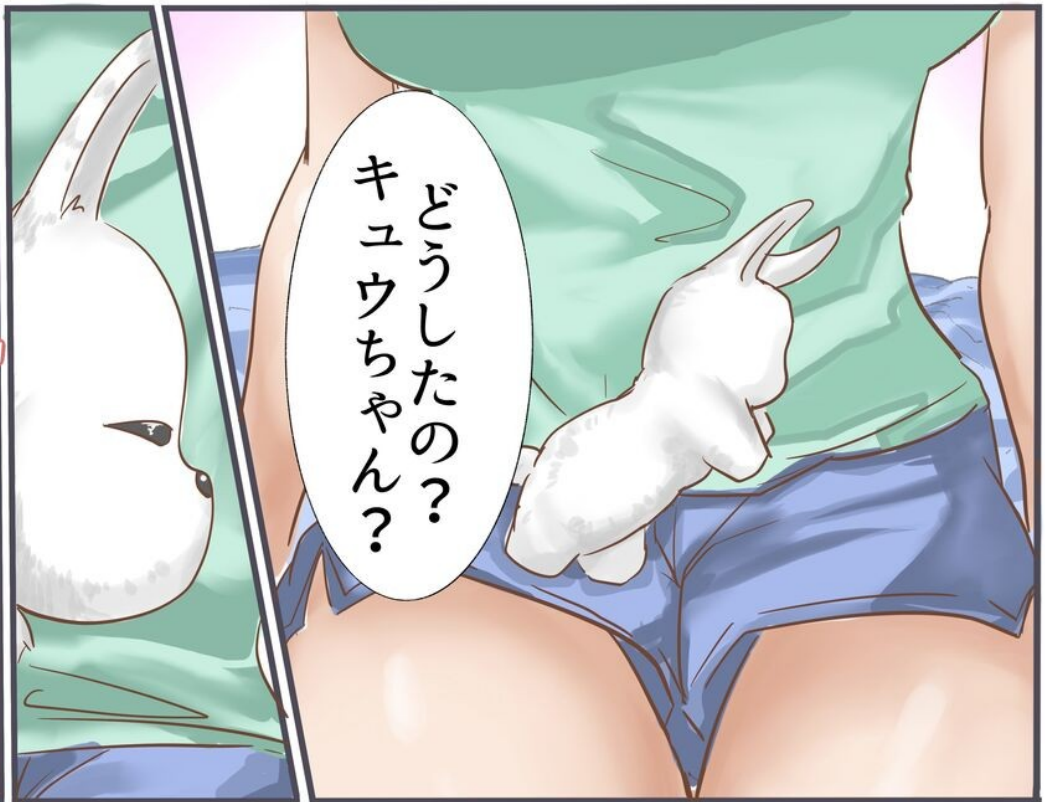








さあ学校行かなきゃ



どうしたの？
キュウちゃん？



夢じゃなかったんだ

数ヶ月後

赤ちゃんできちやった

キュウちゃんはエイリアンだったんだ

ID

ID

に

に

ドク

ドク

ー

ー

—



あはれ

あはれ

あはれ

END